

# 第 1 章

## 身体障害者を対象とした調査

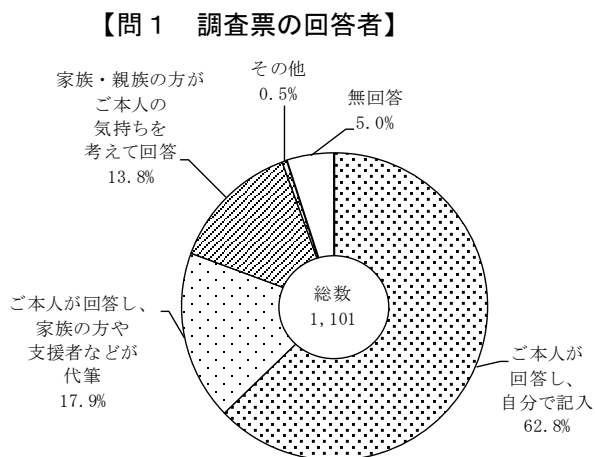


# 1. 本人について

## (1) 調査票の回答者

問1 この調査に回答されているのはどなたですか。(1つに○)

「ご本人が回答し、自分で記入」が62.8%と最も多く、次いで「ご本人が回答し、家族の方や支援者などが代筆」が17.9%、「家族・親族の方がご本人の気持ちを考えて回答」が13.8%となっています。

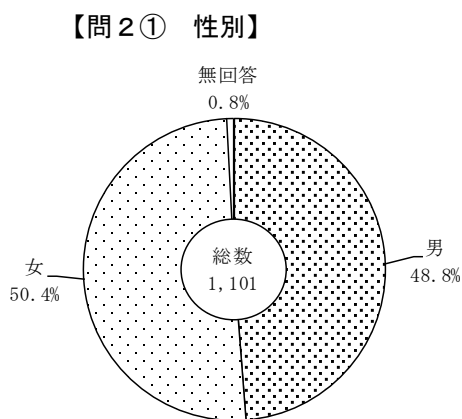


## (2) 性別・年齢

問2 あなたの性別に○をつけ、年齢を記入してください。

### ①性別

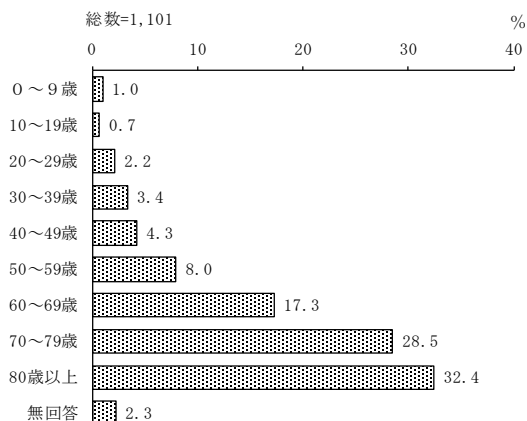
「女」が50.4% 「男」が48.8%となっています。



### ②年齢

「80歳以上」が32.4%と最も多く、次いで「70～79歳」が28.5%、「60～69歳」が17.3%となっています。また、「65歳以上」を集計すると70.2%になります。

### 【問2② 年齢】



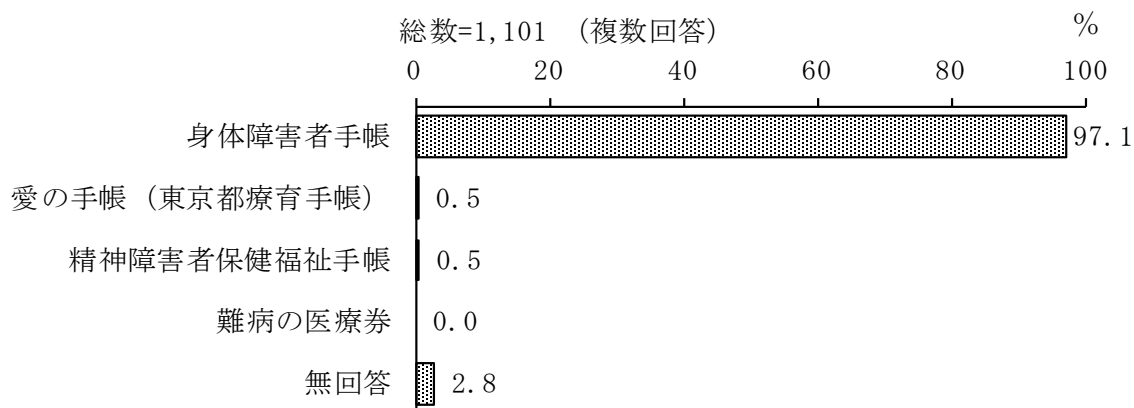
### (3) 手帳の所持状況

問3 あなたのお持ちの手帳に○をつけ、その障害の程度を記入してください。申請中のものがあれば、【申請中】に○をつけてください。

#### ①手帳の所持状況

「身体障害者手帳」が97.1%となっています。

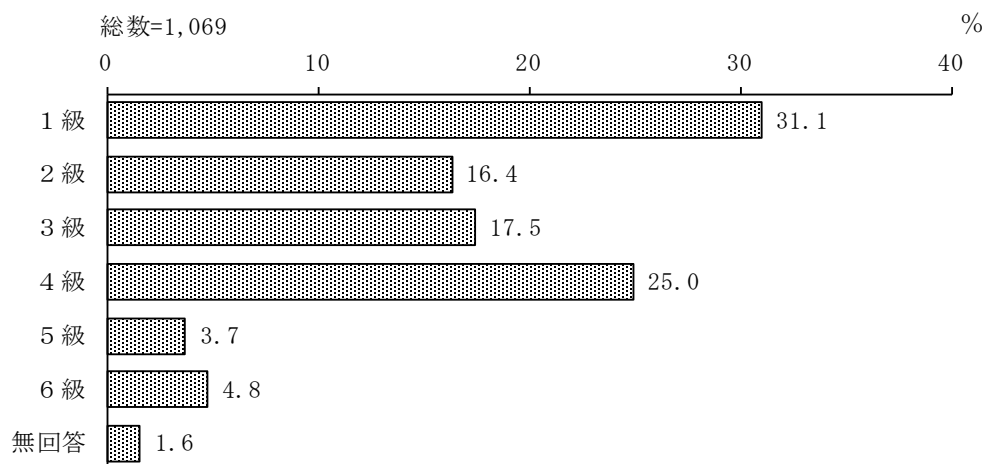
【問3① 手帳の所持状況】



#### ②身体障害者手帳の等級

「1級」が31.1%と最も多く、次いで「4級」が25.0%、「3級」が17.5%、「2級」が16.4%となっています。

【問3② 身体障害者手帳の等級】



※数字が小さい程、重度であることを表しています。

#### ③愛の手帳（東京都療育手帳）の程度

5人中2人が「2度」、1人ずつが「3度」、「4度」と回答しています。

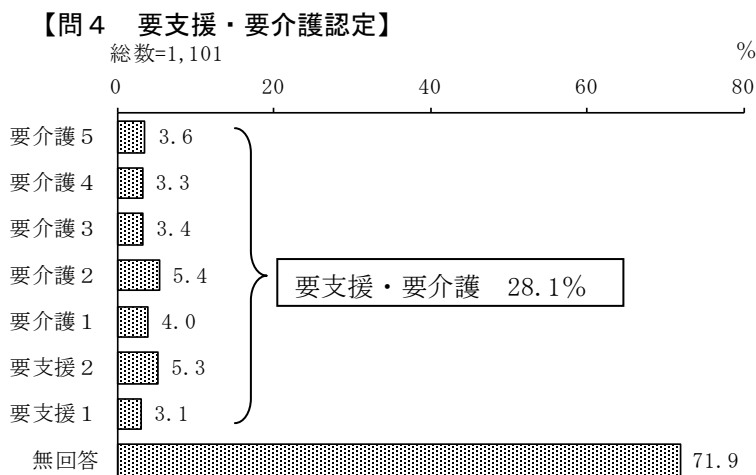
#### ④精神障害者保健福祉手帳の等級

6人中4人が「2級」、1人が「3級」と回答しています。

## (4) 要支援・要介護認定

問4 あなたは介護認定を受けていますか。受けている方は介護度をお書きください。

「要介護2」が5.4%と最も多く、次いで「要支援2」が5.3%、「要介護1」が4.0%、「要介護5」が3.6%、「要介護3」が3.4%となっています。要支援・要介護認定を受けているのは、合わせて28.1%でした。

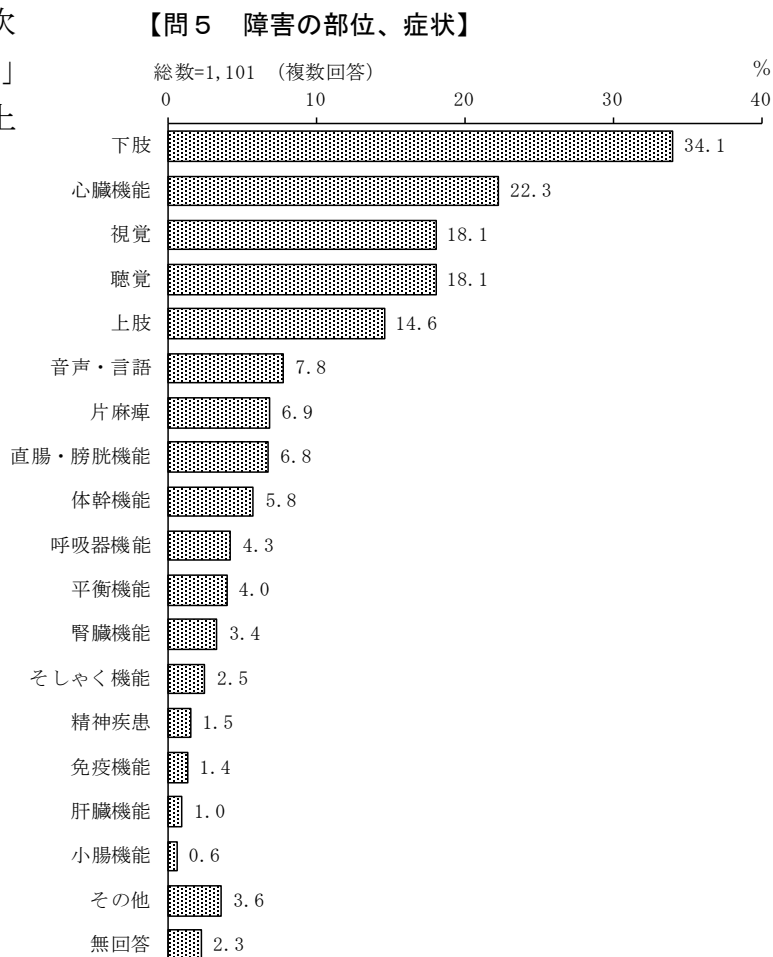


## (5) 障害の部位、症状

※数字が大きい程、重度であることを表しています。

問5 あなたの障害の部位、症状について、次のうちからお選びください。  
(あてはまるものすべてに○)

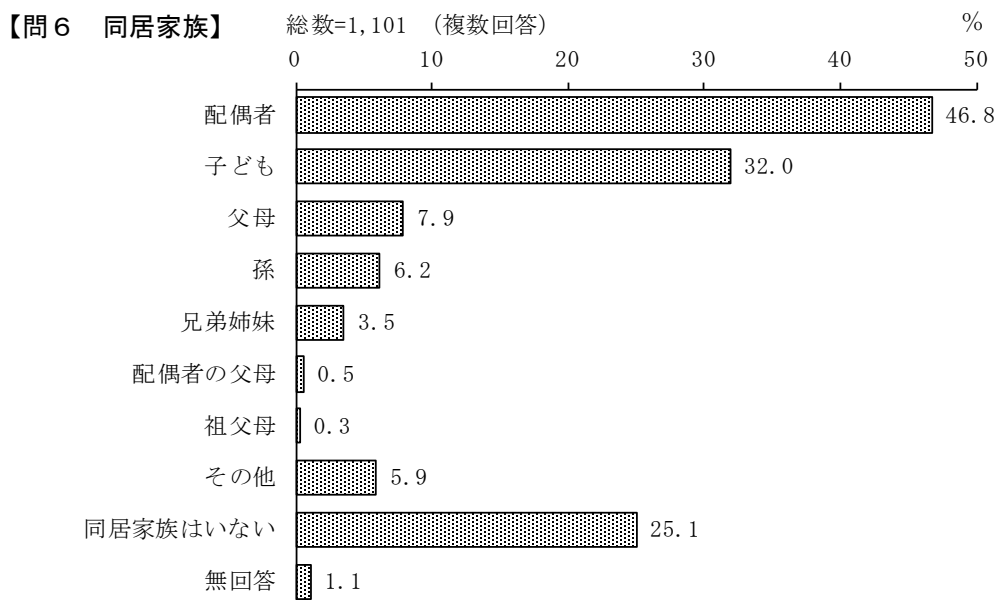
「下肢」が34.1%と最も多く、次いで「心臓機能」が22.3%、「視覚」と「聴覚」がそれぞれ18.1%、「上肢」が14.6%となっています。



## (6) 同居家族

問6 あなたは、現在どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

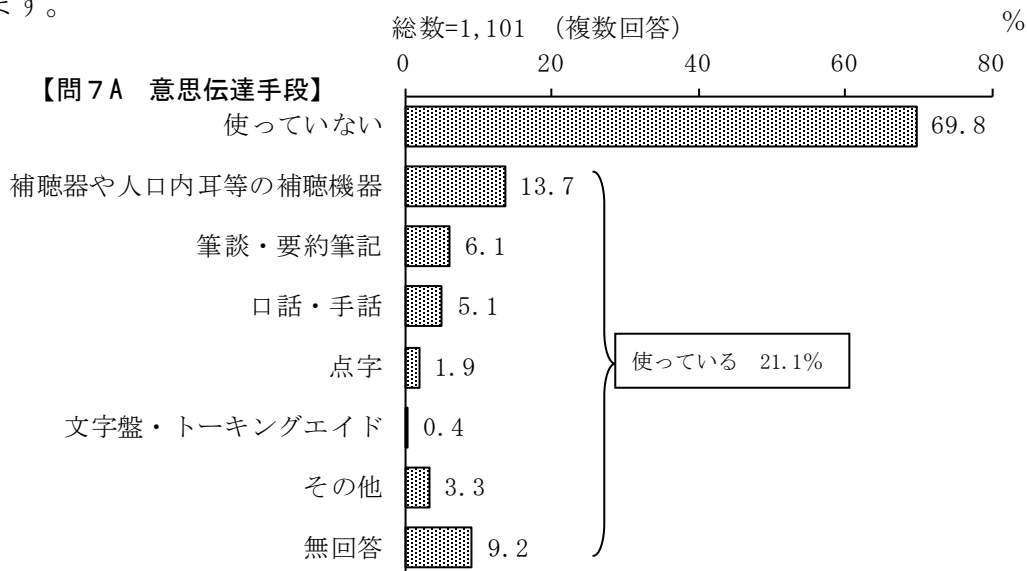
「配偶者」が46.8%と最も多く、次いで「子ども」が32.0%、「同居家族はいない」が25.1%、「父母」が7.9%、「孫」が6.2%となっています。



## (7) 意思伝達手段

問7 あなたは、意思の伝達をする場合、特別な技術や用具を使っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「使っていない」が69.8%と最も多くなっています。「使っている」方の中では「補聴器や人口内耳等の補聴機器」が13.7%、「筆談・要約筆記」が6.1%、「口話・手話」が5.1%となっています。



視覚障害で「点字」と回答した方は約1割、聴覚・平衡機能障害で「補聴器や人工内耳等の補聴機器」と回答した方は5割あまり、「筆談・要約筆記」と回答した方は2割弱となっています。

【問7B 意思伝達手段（障害の部位別）】

	全体	使っていない	口話・手話	補聴器や人工内耳等の補聴機器	筆談・要約筆記	ト文字盤・キング・エイド	点字	その他	無回答	
上段：実数 下段：割合										
全体	1,101 100.0	768 69.8	56 5.1	151 13.7	67 6.1	4 0.4	21 1.9	36 3.3	101 9.2	
障害の部位別	視覚	199 100.0	136 68.3	10 5.0	15 7.5	4 2.0	20 10.1	9 4.5	24 12.1	
	聴覚・平衡機能	230 100.0	65 28.3	40 17.4	123 53.5	49 21.3	2 0.9	9 3.9	17 7.4	
	音声・言語・そしゃく機能	93 100.0	53 57.0	7 7.5	3 3.2	13 14.0	3 3.2	2 2.2	15 16.1	9 9.7
	肢体不自由	450 100.0	356 79.1	18 4.0	20 4.4	14 3.1	2 0.4	3 0.7	19 4.2	42 9.3
	内部障害	378 100.0	314 83.1	8 2.1	20 5.3	7 1.9	-	2 0.5	4 1.1	33 8.7
	精神疾患	17 100.0	10 58.8	1 5.9	3 17.6	-	-	1 5.9	1 5.9	3 17.6
	その他	40 100.0	27 67.5	3 7.5	3 7.5	3 7.5	-	-	4 10.0	6 15.0
	無回答	25 100.0	13 52.0	1 4.0	3 12.0	3 12.0	-	-	-	7 28.0

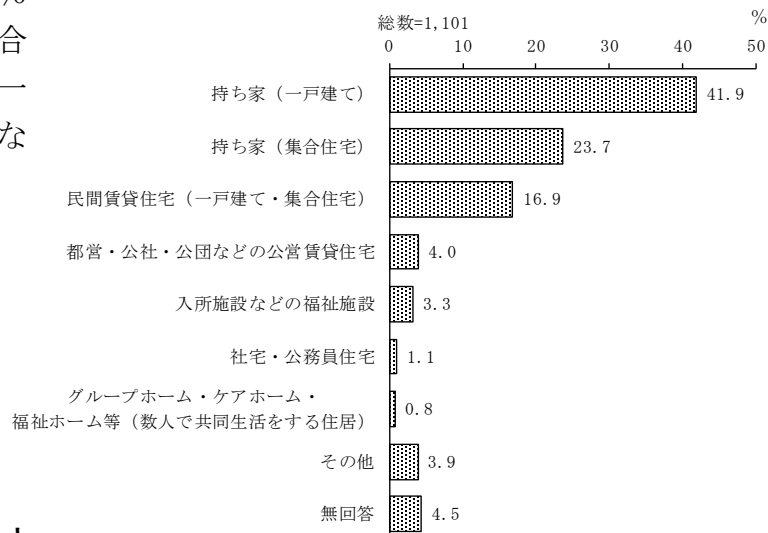
## 2. 住居について

### (1) 住まいの種類

問8 あなたのお住まいについて、あてはまるものを次のうちからお選びください。  
(1つに○)

「持ち家（一戸建て）」が41.9%と最も多く、次いで「持ち家（集合住宅）」が23.7%、「民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅）」が16.9%となっています。

【問8 住まいの種類】

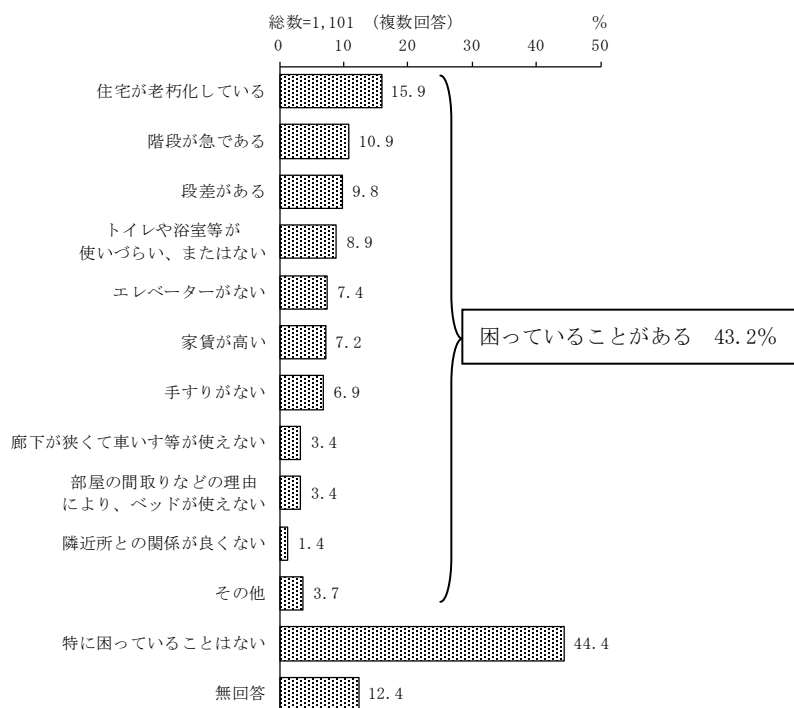


### (2) 住まいで困っていること

問9 あなたは現在のお住まいで困っていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

困っていることがある方の中では、「住宅が老朽化している」が15.9%と最も多く、次いで「階段が急である」が10.9%、「段差がある」が9.8%、「トイレや浴室等が使いづらい、またはない」が8.9%、「エレベーターがない」が7.4%となっています。「特に困っていることはない」は44.4%でした。

【問9A 住まいで困っていること】





「家賃が高い」という回答の割合は民間賃貸住宅（一戸建て・集合住宅）で多く、「住宅が老朽化している」という回答の割合は都営・公社・公団などの公営賃貸住宅で多くなっています。

【問9B 住まいで困っていること（住まいの種類別）】

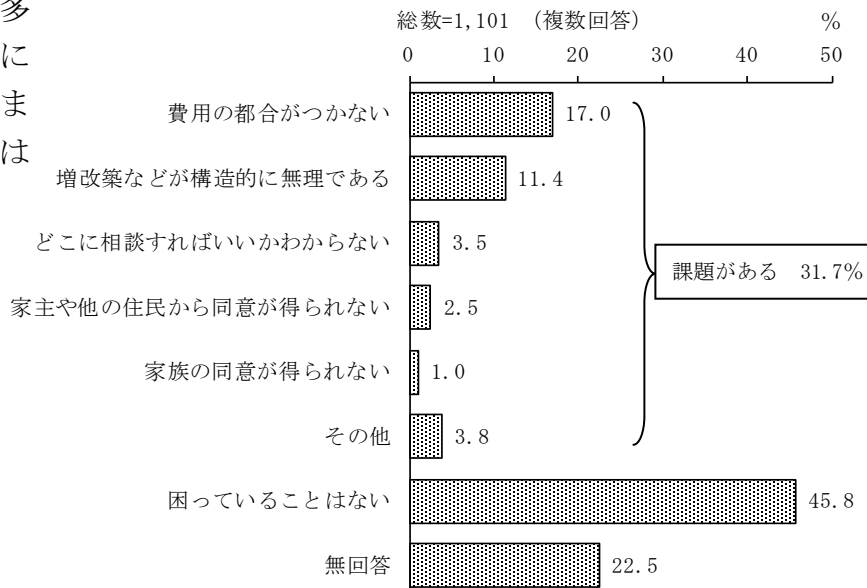
上段：実数 下段：割合		全体	手すりが ない	トイレや 浴室等が 使いづら い、また はない	階段が 急である	段差が ある	廊下や 車いす 等が狭 くて使 えない	エレベ ーター がない	部屋の 間取り など、 ペッド が使い えない	住宅が 老朽化 してい る	家賃が 高い	隣近所 との関 係が良 くない	その他	特に困 ってい るこ とは ない	無回 答	
全体		1,101 100.0	76 6.9	98 8.9	120 10.9	108 9.8	37 3.4	82 7.4	37 3.4	175 15.9	79 7.2	15 1.4	41 3.7	489 44.4	136 12.4	
住 ま い の 種 類	持ち家（一戸建て）	461 100.0	27 5.9	27 5.9	73 15.8	56 12.1	22 4.8	47 10.2	9 2.0	90 19.5	1 0.2	3 0.7	9 2.0	213 46.2	48 10.4	
	持ち家（集合住宅）	261 100.0	22 8.4	15 5.7	14 5.4	17 6.5	3 1.1	12 4.6	9 3.4	19 7.3	3 1.1	2 0.8	8 3.1	152 58.2	25 9.6	
	民間賃貸住宅 （一戸建て・集合住宅）	186 100.0	21 11.3	37 19.9	24 12.9	28 15.1	5 2.7	13 7.0	14 7.5	37 19.9	67 36.0	8 4.3	13 7.0	49 26.3	9 4.8	
	社宅・公務員住宅	12 100.0	-	2 16.7	-	-	-	1 8.3	1 8.3	4 33.3	1 8.3	-	-	2 16.7	3 25.0	
	都営・公社・公団な どの公営賃貸住宅	44 100.0	4 9.1	8 18.2	4 9.1	2 4.5	5 11.4	4 9.1	3 6.8	14 31.8	3 6.8	2 4.5	2 4.5	18 40.9	1 2.3	
	グループホーム等（数人 で共同生活をする住居）	9 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6 66.7	3 33.3
	入所施設などの 福祉施設	36 100.0	-	4 11.1	1 2.8	1 2.8	-	-	-	1 2.8	1 2.8	-	-	3 8.3	22 61.1	6 16.7
	その他	43 100.0	2 4.7	4 9.3	4 9.3	4 9.3	2 4.7	3 7.0	1 2.3	9 20.9	1 2.3	-	-	6 14.0	19 44.2	4 9.3
	無回答	49 100.0	-	1 2.0	-	-	-	-	2 4.1	-	1 2.0	2 4.1	-	-	8 16.3	37 75.5

### （3）住まいを改善する際の課題

問10 現在のお住まいを改善する際に、課題となることはありますか。  
（あてはまるものすべてに○）

課題がある方の中では、「費用の都合がつかない」が17.0%と最も多く、次いで「増改築などが構造的に無理である」が11.4%となっています。「困っていることはない」は45.8%でした。

【問10 住まいを改善する際の課題】



### 3. 収入・年金について

#### (1) 本人の収入・世帯全体の収入

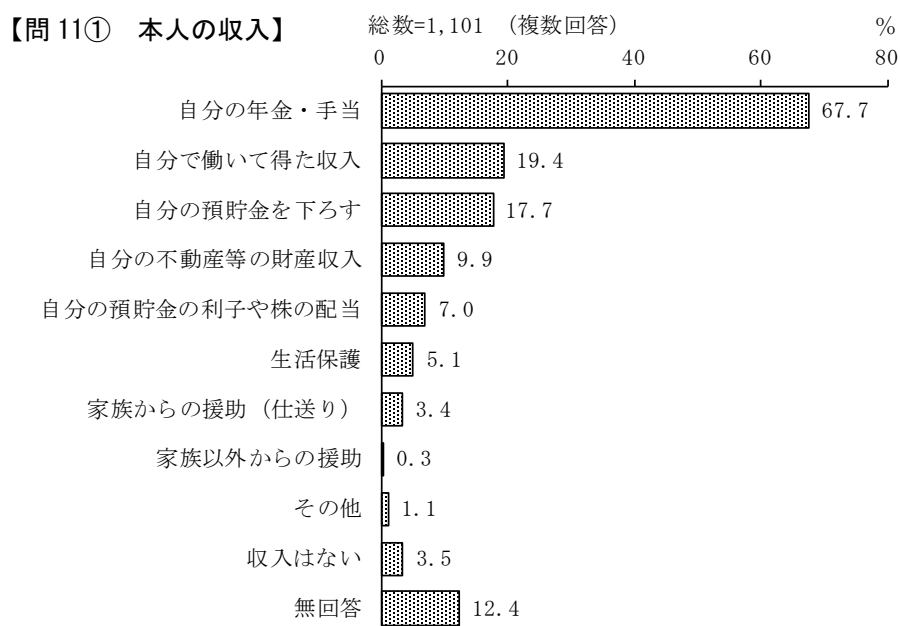
問 11 あなたの世帯はどのような収入をもとに暮らしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

単身の方は、あなた自身の収入についてのみ、回答してください。

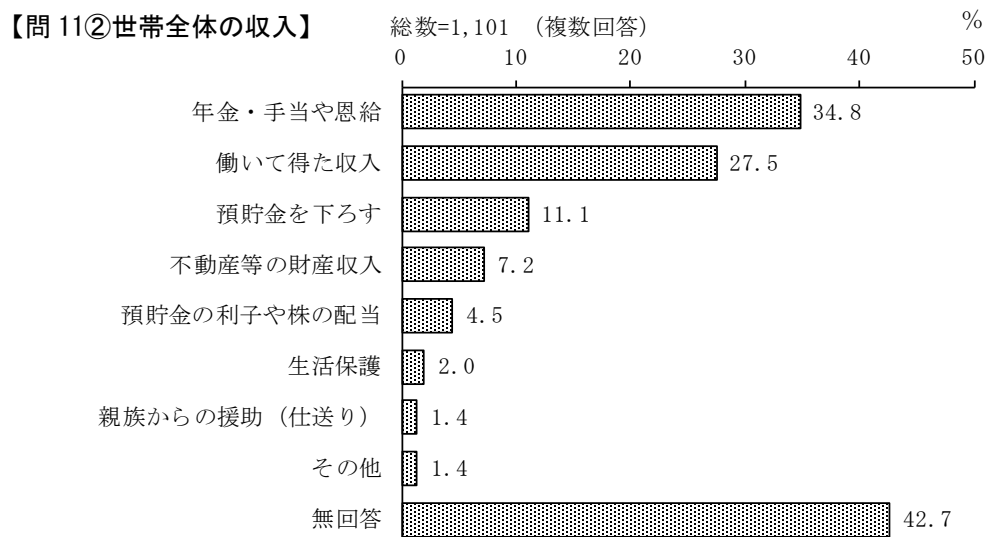
##### ①本人の収入

「自分の年金・手当」が67.7%と最も多く、次いで「自分で働いて得た収入」が19.4%、「自分の預貯金を下ろす」が17.7%となっています。



##### ②世帯全体の収入

「年金・手当や恩給」が34.8%と最も多く、次いで「働いて得た収入」が27.5%、「預貯金を下ろす」が11.1%、「不動産等の財産収入」が7.2%となっています。

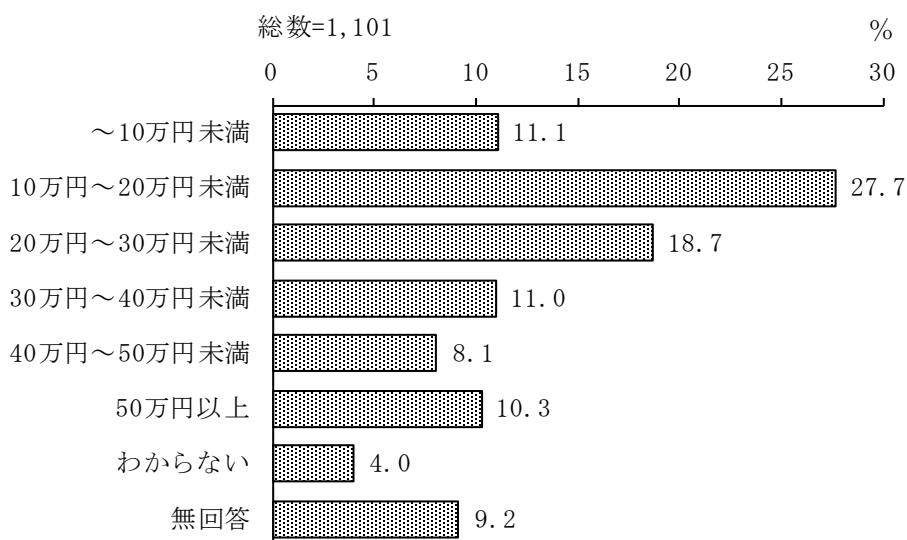


## (2) 世帯の収入額

問 12 年金・手当・仕送りなどをすべて合わせて、あなたの世帯の1か月の収入はおよそいくらですか。(1つに○)

「10万円～20万円未満」が27.7%と最も多く、次いで「20万円～30万円未満」が18.7%、「～10万円未満」が11.1%、「30万円～40万円未満」が11.0%となっています。

【問 12A 世帯の収入額】



家族と同居している方では「20万円～30万円未満」が最も多いのに対し、一人暮らしの方では「10万円～20万円未満」が多くなっています。

【問 12B 世帯の収入額（家族構成別）】

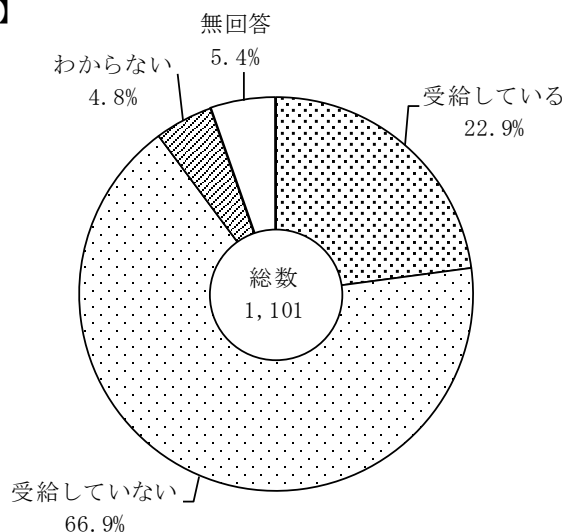
	全体	収入額						わからない	無回答	
		～10万円未満	10万円～20万円未満	20万円～30万円未満	30万円～40万円未満	40万円～50万円未満	50万円以上			
上段：実数	1,101	122	305	206	121	89	113	44	101	
下段：割合	100.0	11.1	27.7	18.7	11.0	8.1	10.3	4.0	9.2	
家族構成	家族と同居	759	53	157	159	104	80	104	33	69
		100.0	7.0	20.7	<b>20.9</b>	13.7	10.5	13.7	4.3	9.1
	一人暮らし	276	54	129	36	14	4	6	9	24
		100.0	19.6	<b>46.7</b>	13.0	5.1	1.4	2.2	3.3	8.7
	その他	54	14	14	7	3	5	2	2	7
		100.0	25.9	25.9	13.0	5.6	9.3	3.7	3.7	13.0
	無回答	12	1	5	4	-	-	1	-	1
		100.0	8.3	41.7	33.3	-	-	8.3	-	8.3

### (3) 障害年金の受給状況

問 13-① あなたは障害基礎年金や障害厚生年金を受給していますか。(1つに○)

「受給していない」が66.9%、「受給している」が22.9%となっています。

【問 13-① 障害年金の受給状況】

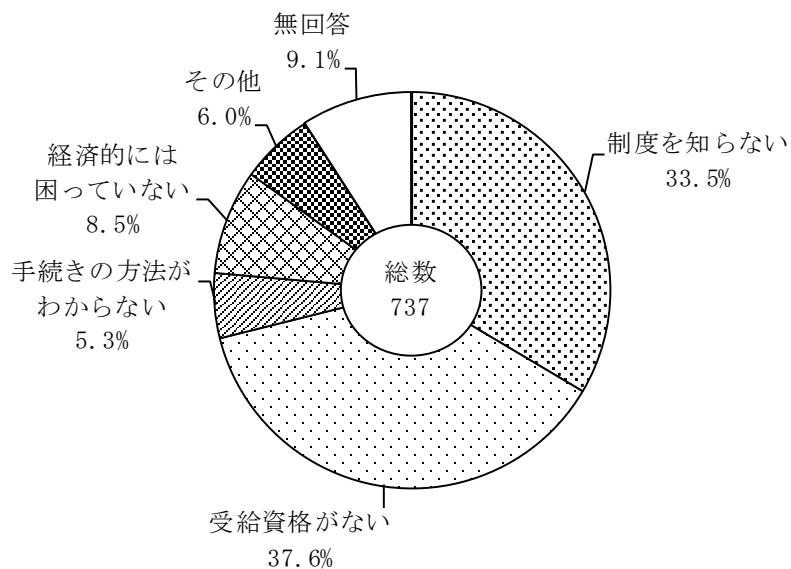


### (4) 障害年金を受給していない理由

問 13-② 問 13-①で「受給していない」と答えた方にお聞きします。障害基礎年金や障害厚生年金を受給していない理由についてお答えください。(1つに○)

「受給資格がない」が37.6%と最も多く、次いで「制度を知らない」が33.5%、「経済的には困っていない」が8.5%、「手続きの方法がわからない」が5.3%となっています。

【問 13-② 障害年金を受給していない理由】



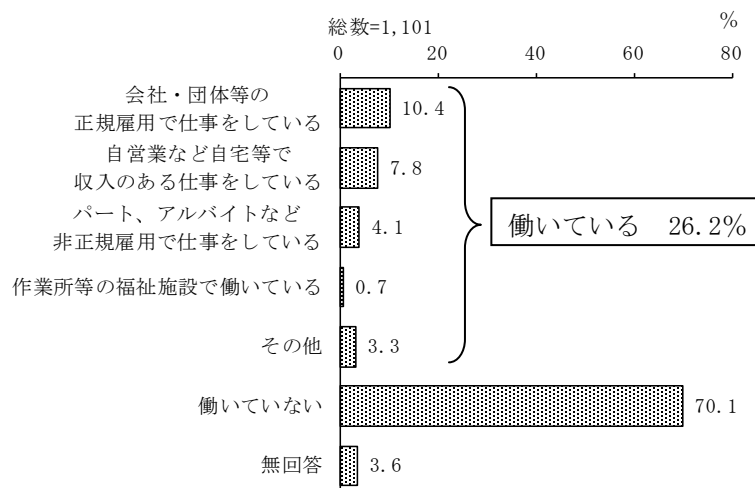
## 4. 就労の状況について

### (1) 就労状況

問 14-① あなたは、現在仕事をしていますか。(1つに○)

「会社・団体等の正規雇用で仕事をしている」が 10.4%と最も多く、次いで「自営業など自宅等で収入のある仕事をしている」が 7.8%、パート・アルバイトなど非正規雇用で仕事をしている」が 4.1%となっています。「働いている」という回答は合わせて 26.2%、「働いていない」という回答は 70.1%でした。

【問 14-①A 就労状況】



「会社・団体等の正規雇用で仕事をしている」という回答の割合は 18～49 歳で多く、「働いていない」という回答の割合は 50 歳以上で多くなっています。また、就労期 (18～64 歳) に限ってみると、働いている人は 54.0%、働いていない人は 44.6%となっています。

【問 14-①B 就労状況 (年齢別)】

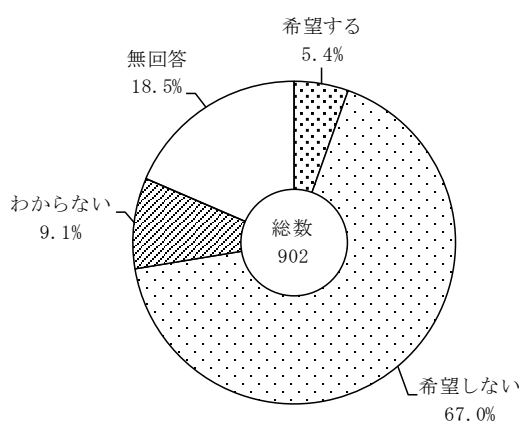
年齢別	上段：実数 下段：割合	全体	正会社・団体等の正規雇用で仕事をしている	非パート・アルバイトなど正規雇用で仕事をしている	自営業など自宅等で収入のある仕事をしている	福祉施設で働いている	その他	働いていない	無回答								
		実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)	実数	割合 (%)						
全体	1,101	100.0	114	10.4	45	4.1	86	7.8	8	0.7	36	3.3	772	70.1	40	3.6	
0～11歳	12	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8.3	9	75.0	2	16.7	
12～17歳	6	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16.7	5	83.3	-	-	
18～29歳	25	100.0	11	44.0	2	8.0	-	-	-	1	4.0	1	40.0	10	40.0	1	4.0
30～39歳	37	100.0	20	54.1	4	10.8	1	2.7	1	2.7	1	2.7	10	27.0	-	-	
40～49歳	47	100.0	22	46.8	5	10.6	4	8.5	1	2.1	4	8.5	9	19.1	2	4.3	
50～59歳	88	100.0	19	21.6	9	10.2	11	12.5	2	2.3	3	3.4	44	50.0	-	-	
60～64歳	88	100.0	14	15.9	7	8.0	11	12.5	1	1.1	-	-	54	61.4	1	1.1	
65～69歳	102	100.0	9	8.8	3	2.9	12	11.8	2	2.0	1	1.0	74	72.5	1	1.0	
70～74歳	157	100.0	6	3.8	10	6.4	16	10.2	-	-	9	5.7	109	69.4	7	4.5	
75歳以上	514	100.0	12	2.3	4	0.8	30	5.8	-	-	15	2.9	431	83.9	22	4.3	
無回答	25	100.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0	1	4.0	-	-	17	68.0	4	16.0	

## (2) 一般企業への就職の希望

問 14-② 問 14-①で「自営業等、自宅で働いている」、「福祉施設等で働いている」、「働いていない」等と答えた方にお聞きします。あなたは一般企業（非正規雇用を含む）への就職を希望しますか。（1つに○）

「希望しない」が67.0%、「希望する」が5.4%となっています。また、この回答結果を年齢別にみた場合でも、多くの年代で「希望しない」という回答が「希望する」という回答を上回っていました。

【問 14-② 一般企業への就職の希望】

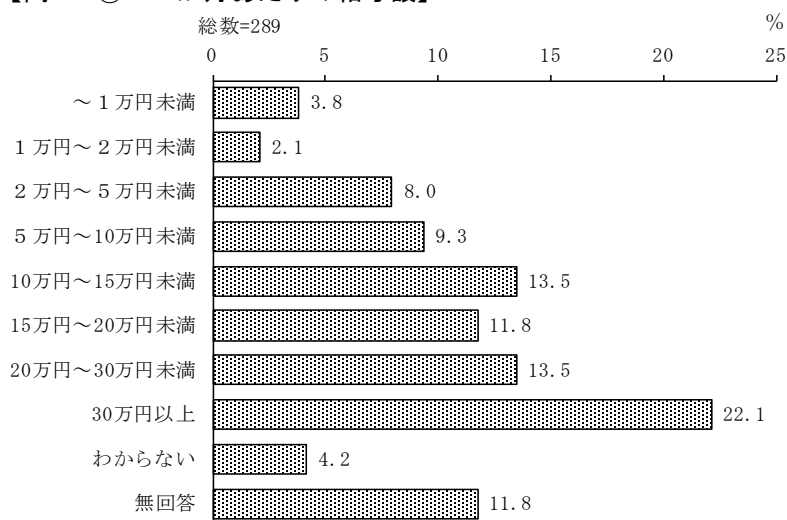


## (3) 1か月あたりの給与額

問 14-③ 問 14-①で「働いている」と答えた方にお聞きします。あなたの1か月あたりの給与（賃金・工賃）はおよそいくらですか。（1つに○）

「30万円以上」が22.1%と最も多く、次いで「10万円～15万円未満」と「20万円～30万円未満」がそれぞれ13.5%、「15万円～20万円未満」が11.8%、「5万円～10万円未満」が9.3%となっています。

【問 14-③ 1か月あたりの給与額】

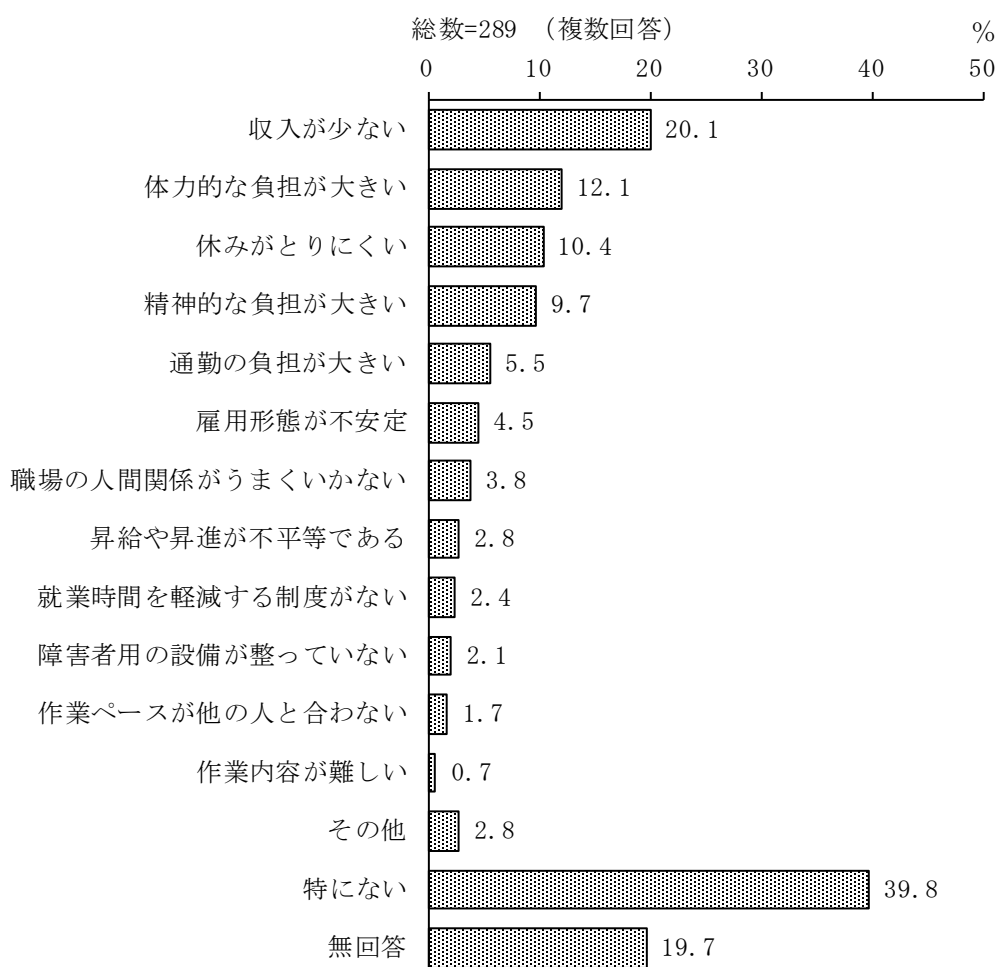


#### (4) 職場や仕事・作業への不安・不満

問 14-④ 問 14-①で「働いている」と答えた方にお聞きします。あなたが現在働いている職場や仕事・作業に不安や不満はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「収入が少ない」が20.1%と最も多く、次いで「体力的な負担が大きい」が12.1%、「休みがとりにくい」が10.4%、「精神的な負担が大きい」が9.7%、「通勤の負担が大きい」が5.5%となっています。

【問 14-④ 職場や仕事・作業への不安・不満】

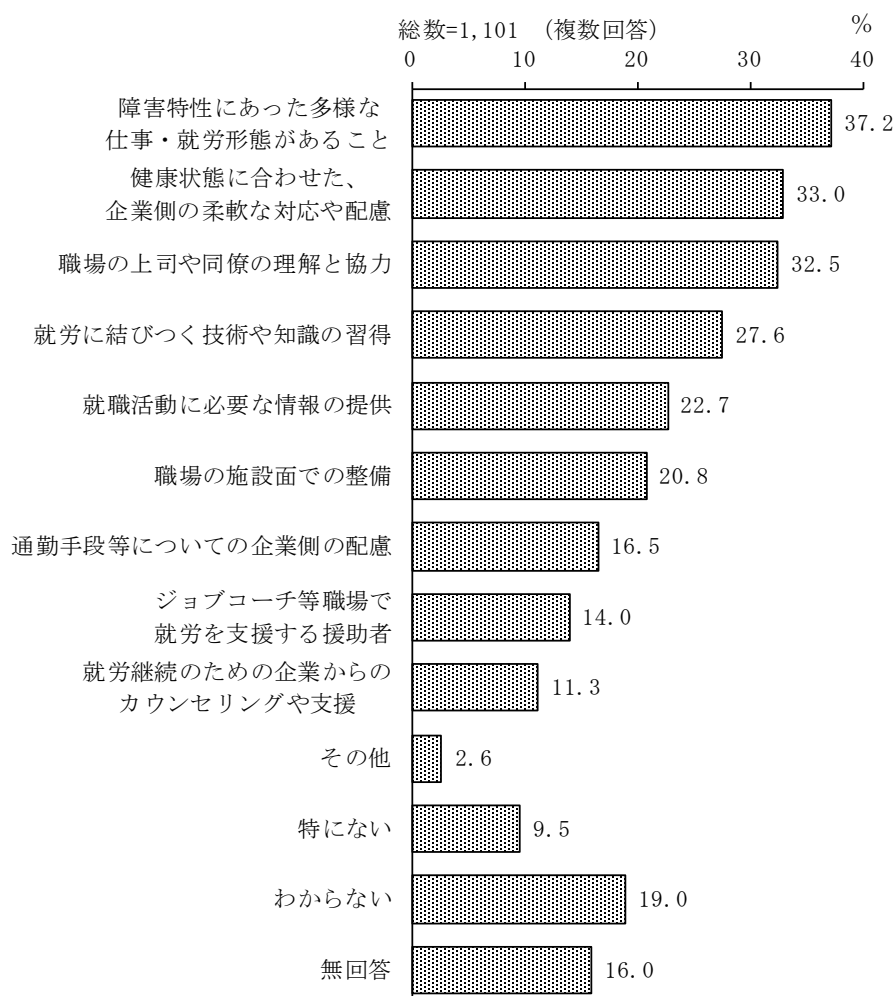


## (5) 障害者が働くために大切なこと

問 15 全員の方にお聞きします。障害者が働くためには、どのような支援や環境が整っていることが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「障害特性にあった多様な仕事・就労形態があること」が 37.2%と最も多く、次いで「健康状態に合わせた、企業側の柔軟な対応や配慮」が 33.0%、「職場の上司や同僚の理解と協力」が 32.5%、「就労に結びつく技術や知識の習得」が 27.6%、「就職活動に必要な情報の提供」が 22.7%となっています。

【問 15 障害者が働くために大切なこと】





## 5. 介助の状況について

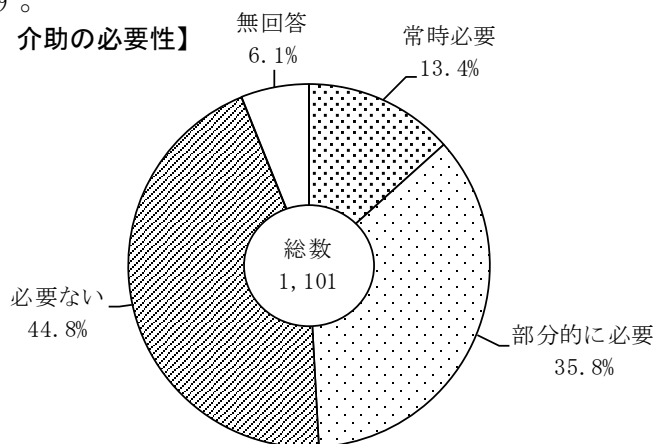
※以下介助とは、障害者への介助、支援、見守りなどを含みます。

### (1) 介助の必要性

問 16-① あなたは介助を必要としていますか。(1つに○)

「必要ない」が 44.8%と最も多く、次いで「部分的に必要」が 35.8%、「常時必要」が 13.4%となっています。

【問 16-① 介助の必要性】

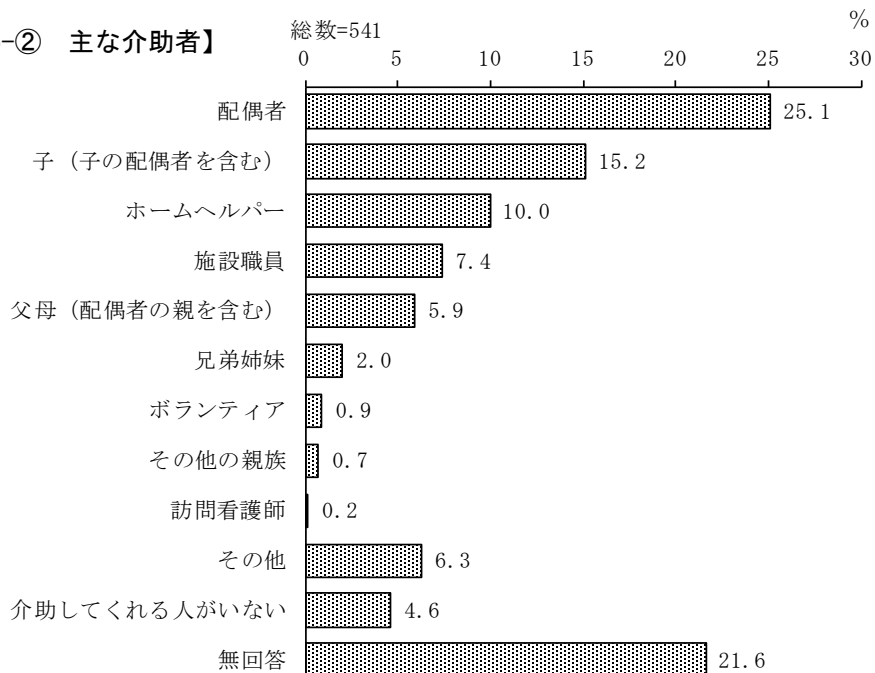


### (2) 主な介助者

問 16-② 問 16-①で「常時必要」または「部分的に必要」に○をつけた方に伺います。あなたを日頃主に介助している方はどなたですか。(1つに○)

「配偶者」が 25.1%と最も多く、次いで「子（子の配偶者を含む）」が 15.2%、「ホームヘルパー」が 10.0%、「施設職員」が 7.4%、「父母（配偶者の親を含む）」が 5.9%となっています。

【問 16-② 主な介助者】



**【ここから問 20 までは介助をしている家族・親族の方に伺いました】**

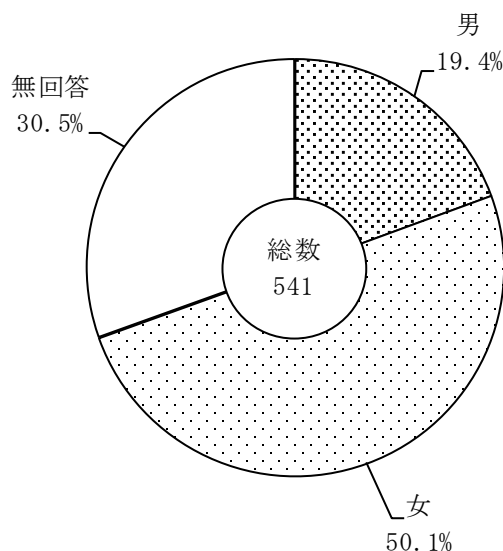
**(3) 主な介助者の性別・年齢**

問 17 主に介助をしている方の性別と年齢を記入してください。

**①主な介助者の性別**

「女」が 50.1%、「男」が 19.4%となっています。

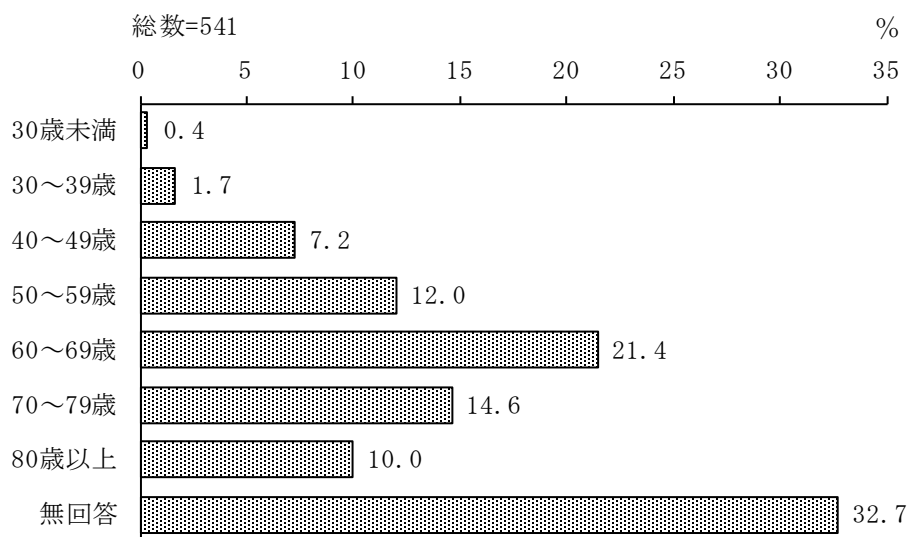
**【問 17① 主な介助者の性別】**



**②主な介助者の年齢**

「60～69 歳」が 21.4%と最も多く、次いで「70～79 歳」が 14.6%、「50～59 歳」が 12.0%、「80 歳以上」が 10.0%となっています。

**【問 17② 主な介助者の年齢】**

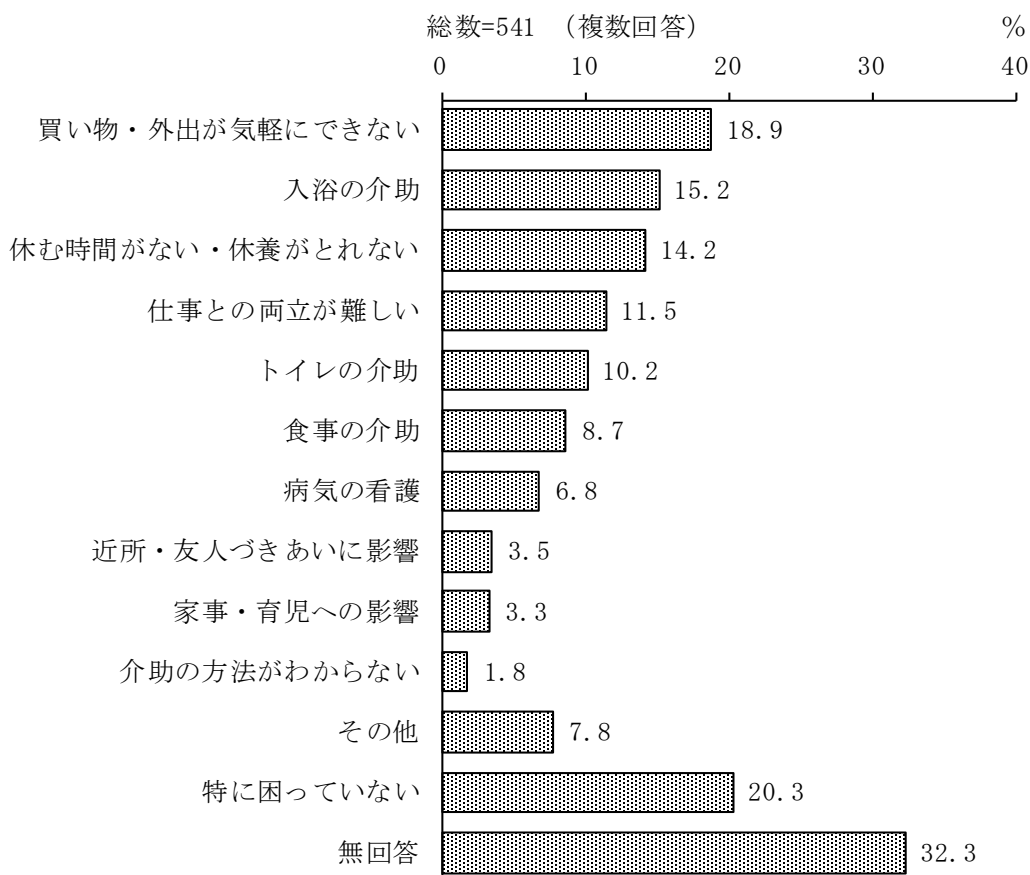


#### (4) 介助者が困っていること

問 18 主に介助をしている方がお困りのことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「買い物・外出が気軽にできない」が 18.9%と最も多く、次いで「入浴の介助」が 15.2%、「休む時間がない・休養がとれない」が 14.2%、「仕事との両立が難しい」が 11.5%、「トイレの介助」が 10.2%となっています。「特に困っていない」は 20.3%でした。

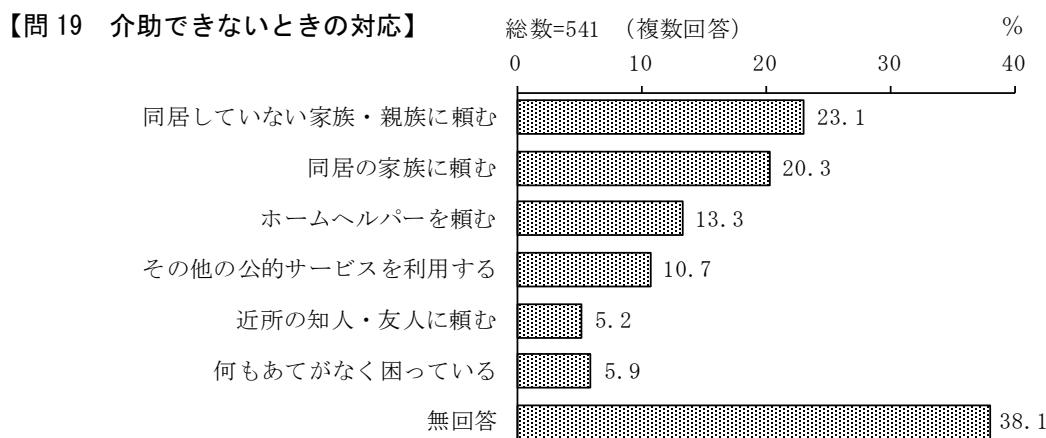
【問 18 介助者が困っていること】



## (5) 介助できないときの対応

問 19 主に介助している方が病気、休養、冠婚葬祭等で一時的に介助ができないときはどうしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「同居していない家族・親族に頼む」が 23.1%と最も多く、次いで「同居の家族に頼む」が 20.3%、「ホームヘルパーを頼む」が 13.3%、「その他の公的サービスを利用する」が 10.7%、「近所の知人・友人に頼む」が 5.2%となっています。

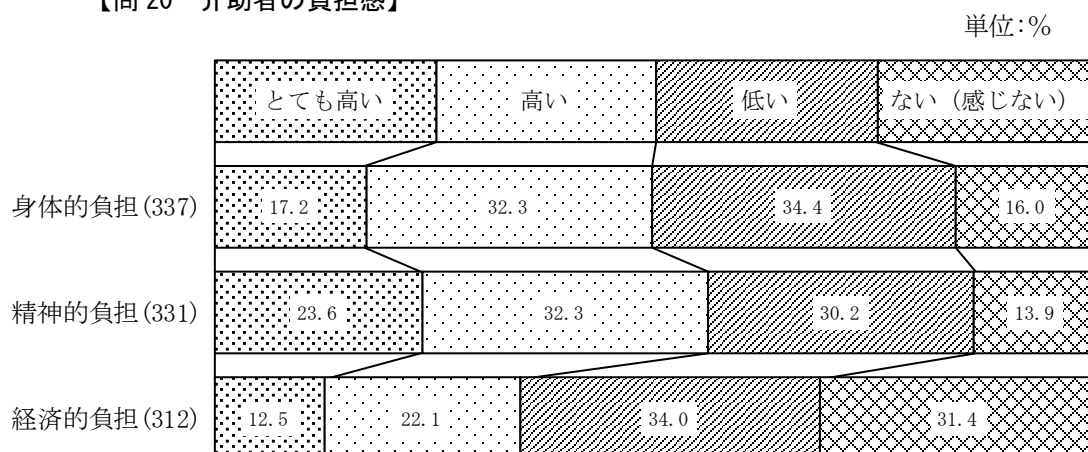


## (6) 介助者の負担感

問 20 介助をする上で、主に介助している方の負担の感じ方はどのくらいですか。次にあげるア～ウについて、それぞれあてはまるものを1～4のなかから選んでください。  
(それぞれ1つに○をつけてください)

どちらかと言えば高い(「とても高い」、「高い」)という回答は、精神的負担が 55.9%と最も多く、次いで身体的負担が 49.6%、経済的負担が 34.6%となっています。

【問 20 介助者の負担感】



※ 無回答は省いています。

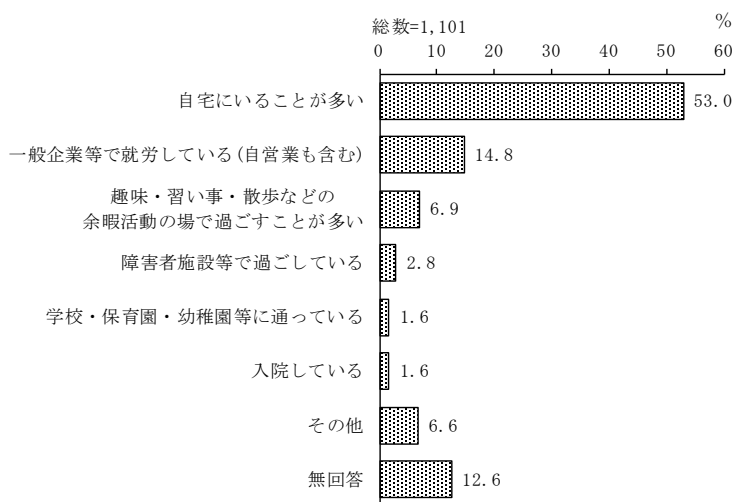
## 6. 日々の生活について

### (1) 日中過ごしている場所

問 21 日中は主にどこで過ごしていますか。(1つに○)

「自宅にすることが多い」が53.0%と最も多く、次いで「一般企業等で就労している(自営業も含む)」が14.8%、「趣味・習い事・散歩などの余暇活動の場で過ごすことが多い」が6.9%となっています。

【問 21A 日中過ごしている場所】



「一般企業等で就労している(自営業も含む)」という回答の割合は18~49歳で多く、「自宅にすることが多い」という回答の割合は50歳以上で多くなっています。

【問 21B 日中過ごしている場所(年齢別)】

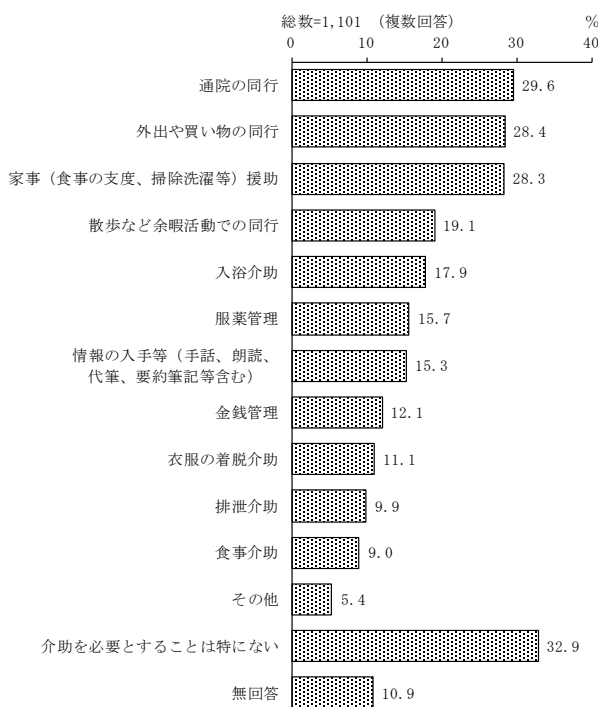
年齢別	上段：実数 下段：割合	全体	(自営業も含む)	学校・保育園等に通っている	障害者施設等で過ごしている	入院している	自宅にすることが多い	余暇活動の場で過ごすことが多い	その他	無回答
		実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数	割合	実数
全体	1,101 100.0	163 14.8	18 1.6	31 2.8	18 1.6	583 53.0	76 6.9	73 6.6	139 12.6	
0~11歳	12 100.0	-	5 41.7	-	-	4 33.3	-	1 8.3	2 16.7	
12~17歳	6 100.0	-	5 83.3	-	1 16.7	-	-	-	-	
18~29歳	25 100.0	11 44.0	5 20.0	1 4.0	-	3 12.0	-	1 4.0	4 16.0	
30~39歳	37 100.0	21 56.8	1 2.7	2 5.4	-	6 16.2	1 2.7	1 2.7	5 13.5	
40~49歳	47 100.0	28 59.6	-	3 6.4	1 2.1	7 14.9	1 2.1	1 2.1	6 12.8	
50~59歳	88 100.0	30 34.1	-	3 3.4	1 1.1	33 37.5	7 8.0	5 5.7	9 10.2	
60~64歳	88 100.0	22 25.0	1 1.1	4 4.5	3 3.4	34 38.6	4 4.5	6 6.8	14 15.9	
65~69歳	102 100.0	13 12.7	-	5 4.9	-	61 59.8	11 10.8	6 5.9	6 5.9	
70~74歳	157 100.0	15 9.6	1 0.6	3 1.9	3 1.9	92 58.6	12 7.6	11 7.0	20 12.7	
75歳以上	514 100.0	22 4.3	-	8 1.6	9 1.8	330 64.2	38 7.4	40 7.8	67 13.0	
無回答	25 100.0	1 4.0	-	2 8.0	-	13 52.0	2 8.0	1 4.0	6 24.0	

## (2) 手助けが必要なこと

問 22 あなたが生活する上で、手助けが必要なことは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「通院の同行」が 29.6%と最も多く、次いで「外出や買い物の同行」が 28.4%、「家事（食事の支度、掃除洗濯等）援助」が 28.3%、「散歩など余暇活動での同行」が 19.1%、「入浴介助」が 17.9%となっています。「介助を必要とすることは特にない」は 32.9%でした。

【問 22A 手助けが必要なこと】



「外出や買い物の同行」、「情報の入手等（手話、朗読、代筆、要約筆記等含む）」という回答の割合は視覚障害で多く、「通院の同行」という回答の割合は視覚障害、音声・言語・そしゃく機能障害で多くなっています。内部障害では「介助を必要とすることは特にない」が多くなっています。

【問 22B 手助けが必要なこと（障害の部位別）】

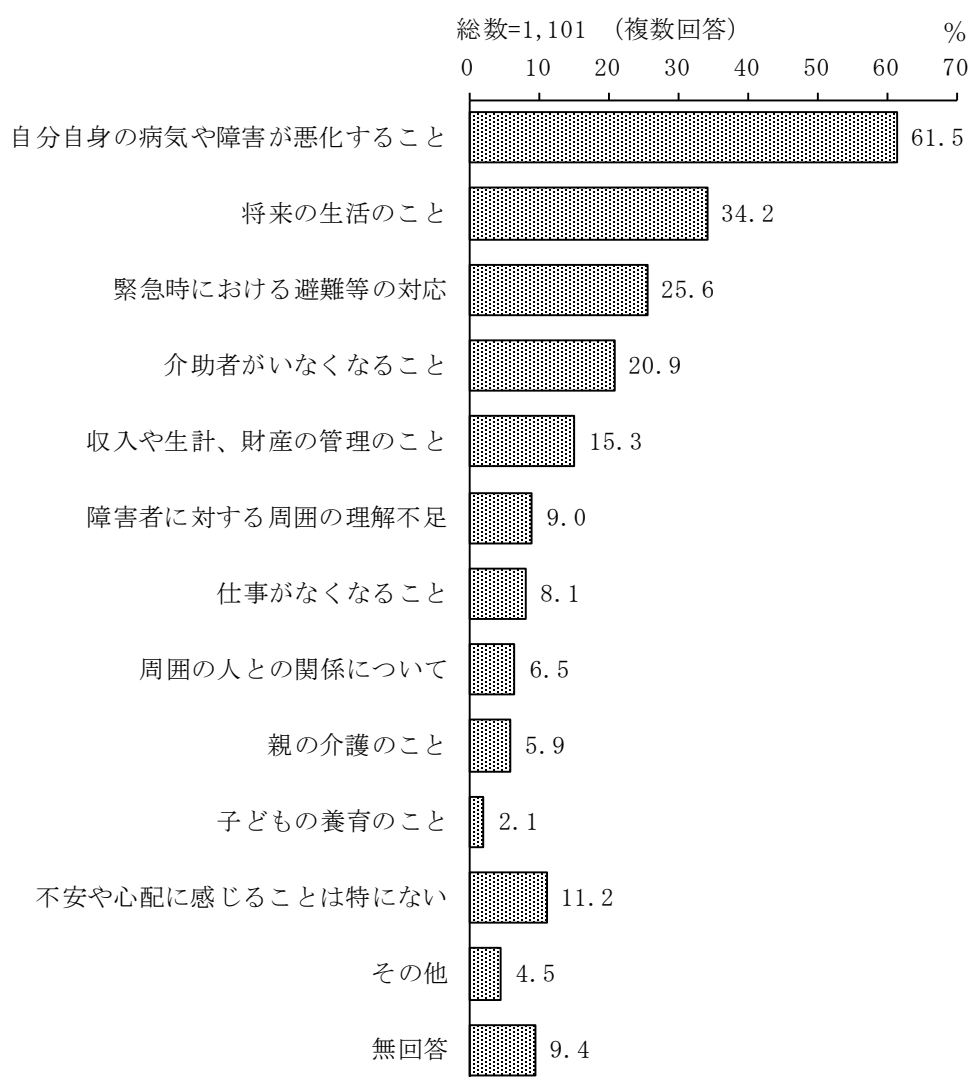
上段：実数 下段：割合	全体	外出や買い物の同行	散歩など余暇活動での同行	通院の同行	家事（食事の支度、掃除洗濯等）援助	食事介助	排泄介助	衣服の着脱介助	入浴介助	金銭管理	服薬管理	情報の入手等（手話、朗読、代筆、要約筆記等含む）	その他	介助を必要とすること	無回答	
	全体	1,101 100.0	313 28.4	210 19.1	326 29.6	312 28.3	99 9.0	109 9.9	122 11.1	197 17.9	133 12.1	173 15.7	169 15.3	59 5.4	362 32.9	120 10.9
障害の部位別	視覚	199 100.0	100 50.3	76 38.2	99 49.7	68 34.2	23 11.6	19 9.5	24 12.1	38 19.1	36 18.1	49 24.6	75 37.7	9 4.5	30 15.1	19 9.5
	聴覚・平衡機能	230 100.0	63 27.4	52 22.6	86 37.4	66 28.7	31 13.5	34 14.8	37 16.1	55 23.9	37 16.1	51 22.2	60 26.1	16 7.0	54 23.5	26 11.3
	音声・言語・そしゃく機能	93 100.0	34 36.6	34 36.6	47 50.5	41 44.1	24 25.8	21 22.6	28 30.1	37 39.8	33 35.5	31 33.3	24 25.8	6 6.5	17 18.3	13 14.0
	肢体不自由	450 100.0	158 35.1	104 23.1	156 34.7	180 40.0	69 15.3	86 19.1	96 21.3	143 31.8	80 17.8	103 22.9	62 13.8	28 6.2	112 24.9	45 10.0
	内部障害	378 100.0	73 19.3	49 13.0	88 23.3	97 25.7	22 5.8	28 7.4	30 7.9	48 12.7	35 9.3	47 12.4	26 6.9	16 4.2	165 43.7	39 10.3
	精神疾患	17 100.0	5 29.4	4 23.5	7 41.2	7 41.2	3 17.6	5 29.4	5 29.4	3 17.6	5 29.4	6 35.3	4 23.5	-	1 5.9	4 23.5
	その他	40 100.0	14 35.0	12 30.0	16 40.0	16 40.0	8 20.0	6 15.0	7 17.5	12 30.0	8 20.0	12 30.0	6 15.0	2 5.0	9 22.5	6 15.0
	無回答	25 100.0	6 24.0	3 12.0	6 24.0	5 20.0	-	1 4.0	1 4.0	2 8.0	-	2 8.0	-	3 12.0	6 24.0	10 40.0

### (3) 不安や心配に感じていること

問 23 現在または将来、不安や心配に感じていることはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「自分自身の病気や障害が悪化すること」が 61.5%と最も多く、次いで「将来の生活のこと」が 34.2%、「緊急時における避難等の対応」が 25.6%、「介助者がいなくなること」が 20.9%、「収入や生計、財産の管理のこと」が 15.3%となっています。

【問 23 不安や心配に感じていること】

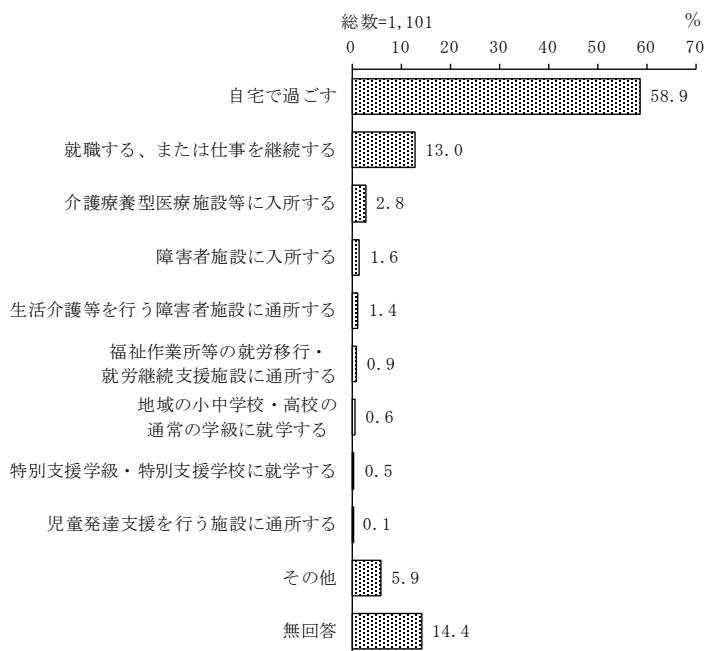


## (4) 日中活動の希望

問 24 日中活動として、あなたは、今後どのような過ごし方、通所先、就学先等を希望していますか。(1つに○)

「自宅で過ごす」が58.9%と最も多く、次いで「就職する、または仕事を継続する」が13.0%となっています。

【問 24A 日中活動の希望】



「就職する、または仕事を継続する」という回答の割合は18～49歳で多く、「自宅で過ごす」という回答の割合は50歳以上で多くなっています。

【問 24B 日中活動の希望 (年齢別)】

年齢別	上段：実数 下段：割合	全体	自宅で過ごす	支援施設・通所する	福祉作業所等の就労継続	障害者施設等を行う	生活介護等を行う	障害者施設に入所する	介護療養型医療施設等に入所する	仕事を継続する、または就職する	特別支援学級・特別支援学校に就学する	就学する通常の学級に	地域の小中学校・高校の通常の学級に	施設入所する	児童発達支援を行う	その他	無回答
		全体	1,101 100.0	648 58.9	10 0.9	15 1.4	18 1.6	31 2.8	143 13.0	5 0.5	7 0.6	1 0.1	65 5.9	158 14.4			
0～11歳	12 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	4 33.3	4 33.3	-	1 8.3	3 25.0			
12～17歳	6 100.0	1 16.7	-	-	-	-	-	-	2 33.3	-	2 33.3	-	1 16.7	-			
18～29歳	25 100.0	5 20.0	4.0	-	-	-	-	-	16 64.0	4.0	-	-	2 8.0	-			
30～39歳	37 100.0	7 18.9	2.7	-	-	-	-	-	23 62.2	-	-	-	1 2.7	5 13.5			
40～49歳	47 100.0	9 19.1	2.1	-	-	-	-	-	26 55.3	-	1 2.1	-	4 8.5	6 12.8			
50～59歳	88 100.0	37 42.0	2.3	2.3	1.1	-	-	31 35.2	-	-	-	-	7 8.0	8 9.1			
60～64歳	88 100.0	47 53.4	3.4	-	1.1	1.1	17 19.3	-	-	-	-	-	6 6.8	13 14.8			
65～69歳	102 100.0	68 66.7	1.0	3.9	2.9	4.9	7 6.9	-	-	-	-	-	5 4.9	9 8.8			
70～74歳	157 100.0	100 63.7	-	1.9	1.9	3.2	12 7.6	-	-	-	-	-	6 3.8	28 17.8			
75歳以上	514 100.0	361 70.2	0.2	1.0	1.9	3.9	7 1.4	-	-	-	-	1 0.2	31 6.0	78 15.2			
無回答	25 100.0	13 52.0	-	1	4.0	-	2 8.0	-	-	-	-	-	1 4.0	8 32.0			

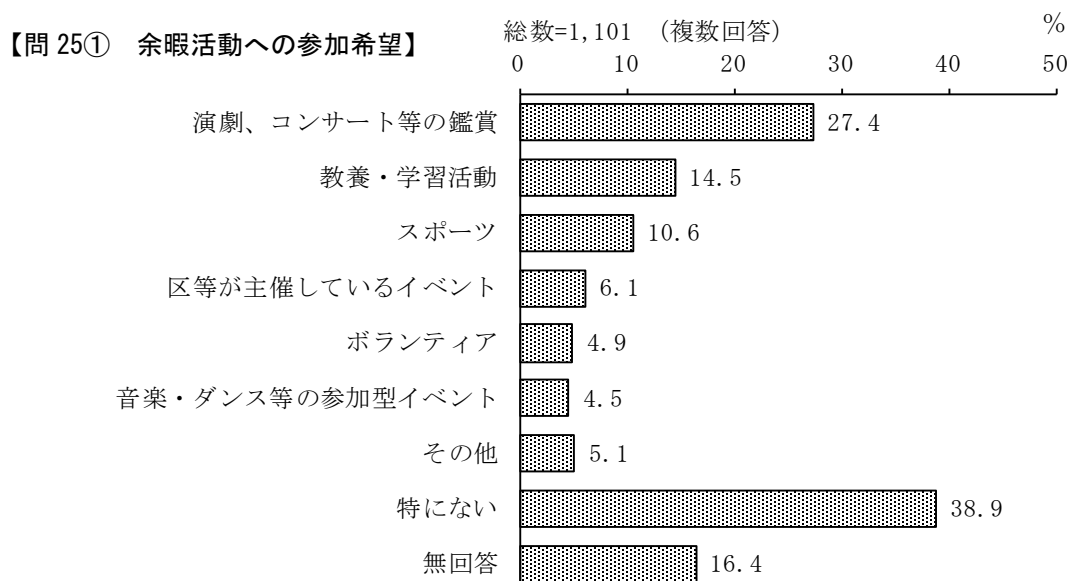


## (5) 余暇活動への参加希望

問 25 余暇活動についてお聞きします。今後余暇活動で参加したいと思うものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

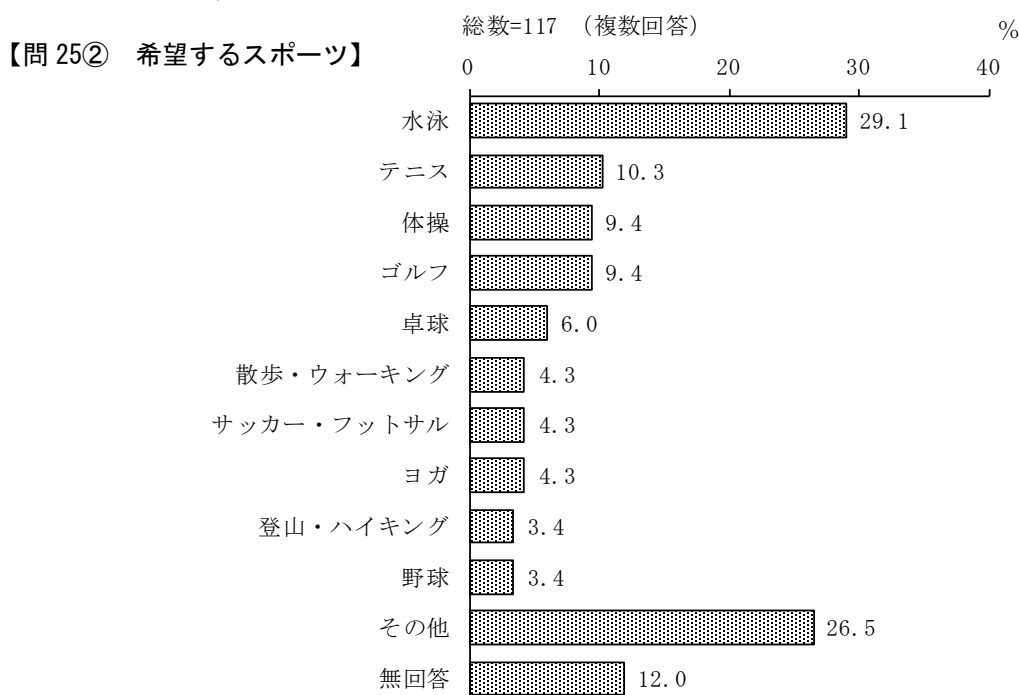
### ①余暇活動への参加希望

「演劇、コンサート等の鑑賞」が27.4%と最も多く、次いで「教養・学習活動」が14.5%、「スポーツ」が10.6%、「区等が主催しているイベント」が6.1%となっています。



### ②希望するスポーツ

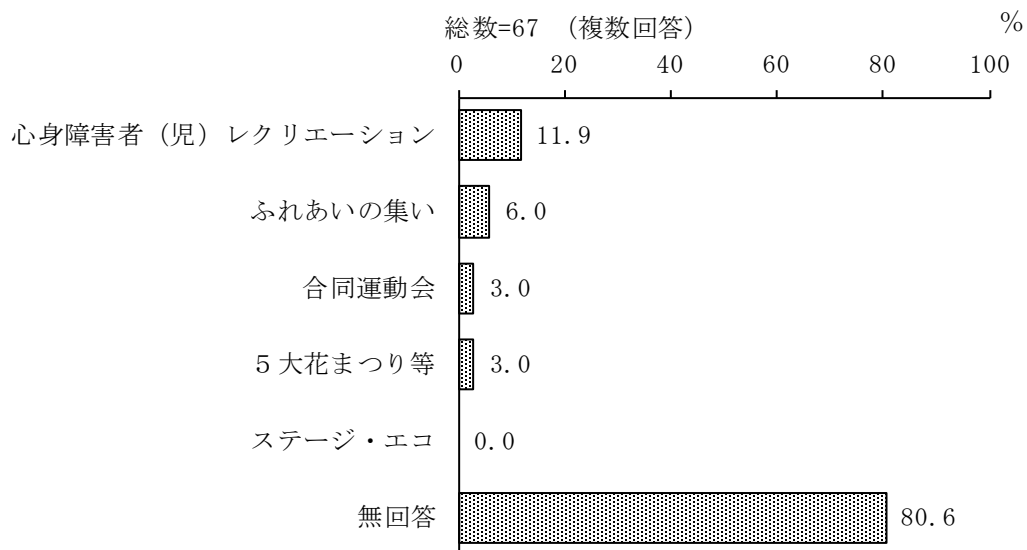
「水泳」が29.1%と最も多く、次いで「テニス」が10.3%、「体操」と「ゴルフ」がそれぞれ9.4%となっています。



### ③区等が主催しているイベント

「心身障害者（児）レクリエーション」が11.9%と最も多く、次いで「ふれあいの集い」が6.0%となっています。

【問 25③ 区等が主催しているイベント】

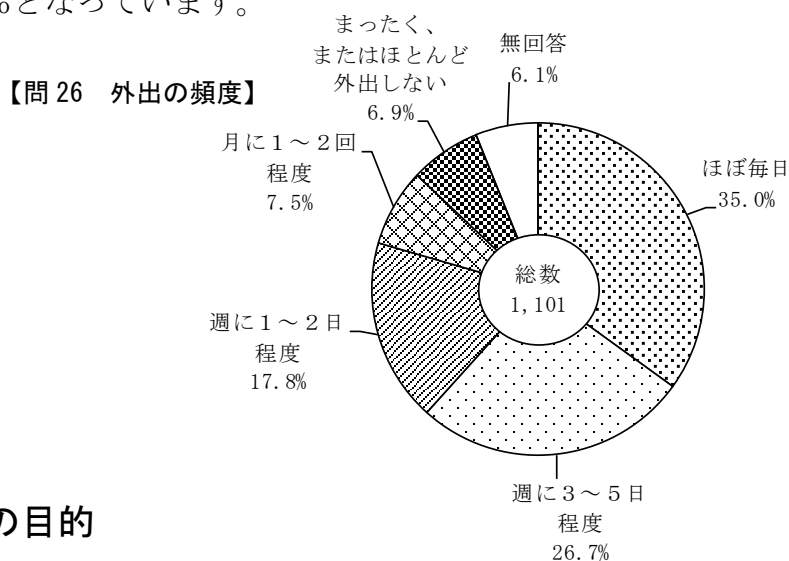


## 7. 外出・地域環境などについて

### (1) 外出の頻度

問 26 日頃あなたはどれくらい外出（通勤、通学、通院等を含む）しますか。（1つに○）

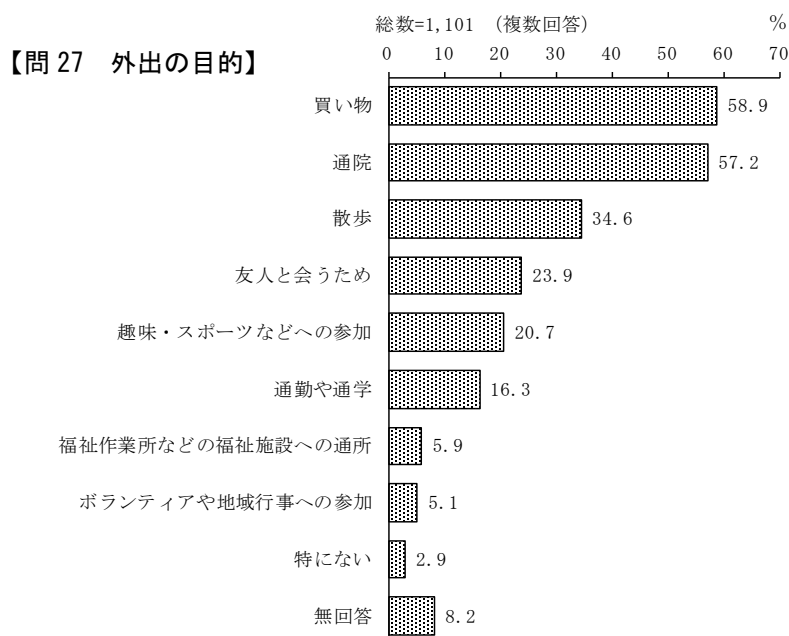
「ほぼ毎日」が 35.0%と最も多く、次いで「週に3～5日程度」が 26.7%、「週に1～2日程度」が 17.8%、「月に1～2回程度」が 7.5%、「まったく、またはほとんど外出しない」が 6.9%となっています。



### (2) 外出の目的

問 27 外出の目的にはどのようなものがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「買い物」が 58.9%と最も多く、次いで「通院」が 57.2%、「散歩」が 34.6%、「友人と会うため」が 23.9%、「趣味・スポーツなどへの参加」が 20.7%となっています。

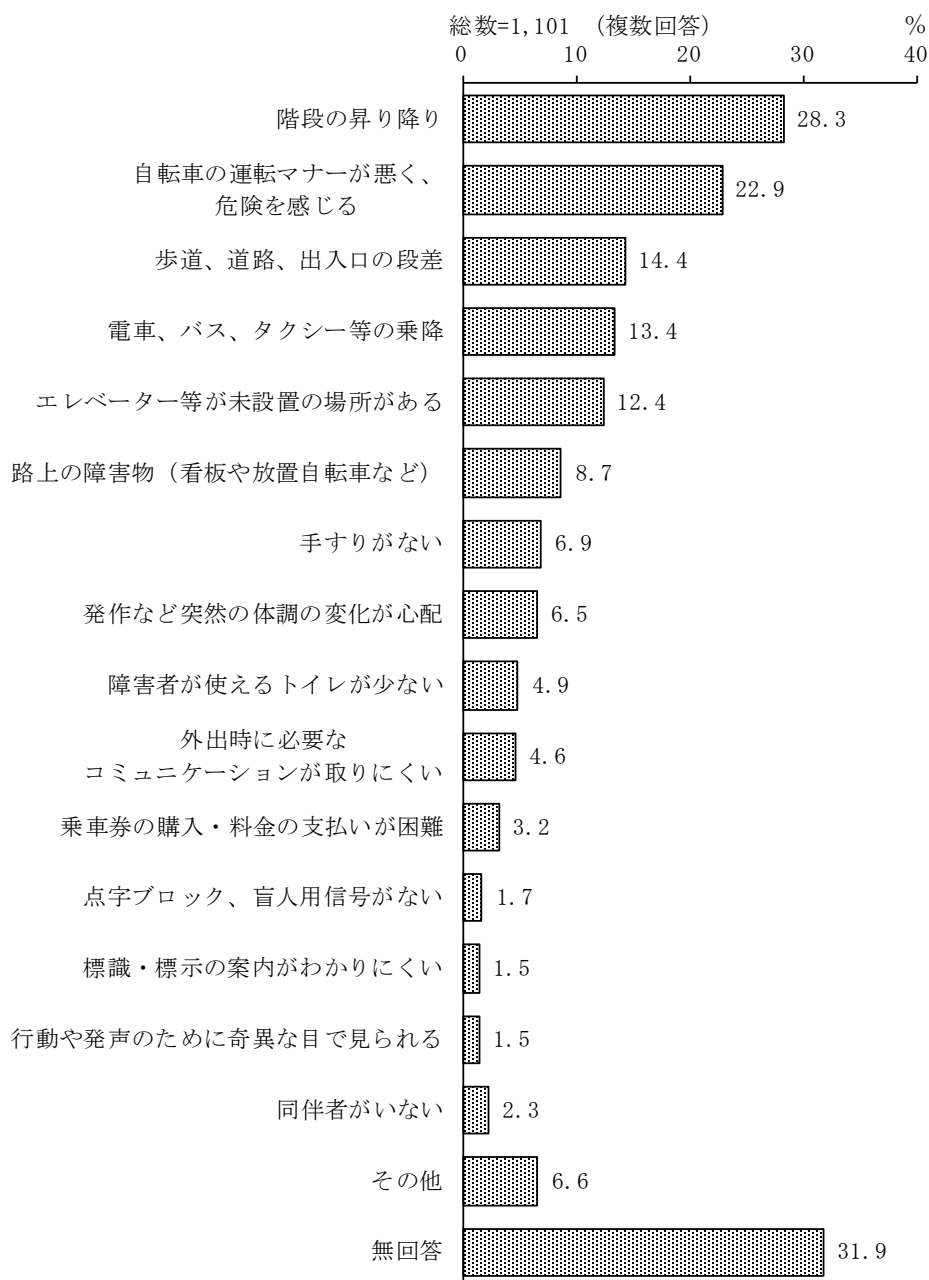


### (3) 外出の際に困ること

問 28 外出の際に困ることは何ですか。(特にあてはまるものを3つまで○)

「階段の昇り降り」が28.3%と最も多く、次いで「自転車の運転マナーが悪く、危険を感じる」が22.9%、「歩道、道路、出入口の段差」が14.4%、「電車、バス、タクシー等の乗降」が13.4%、「エレベーター等が未設置の場所がある」が12.4%となっています。

【問 28 外出の際に困ること】



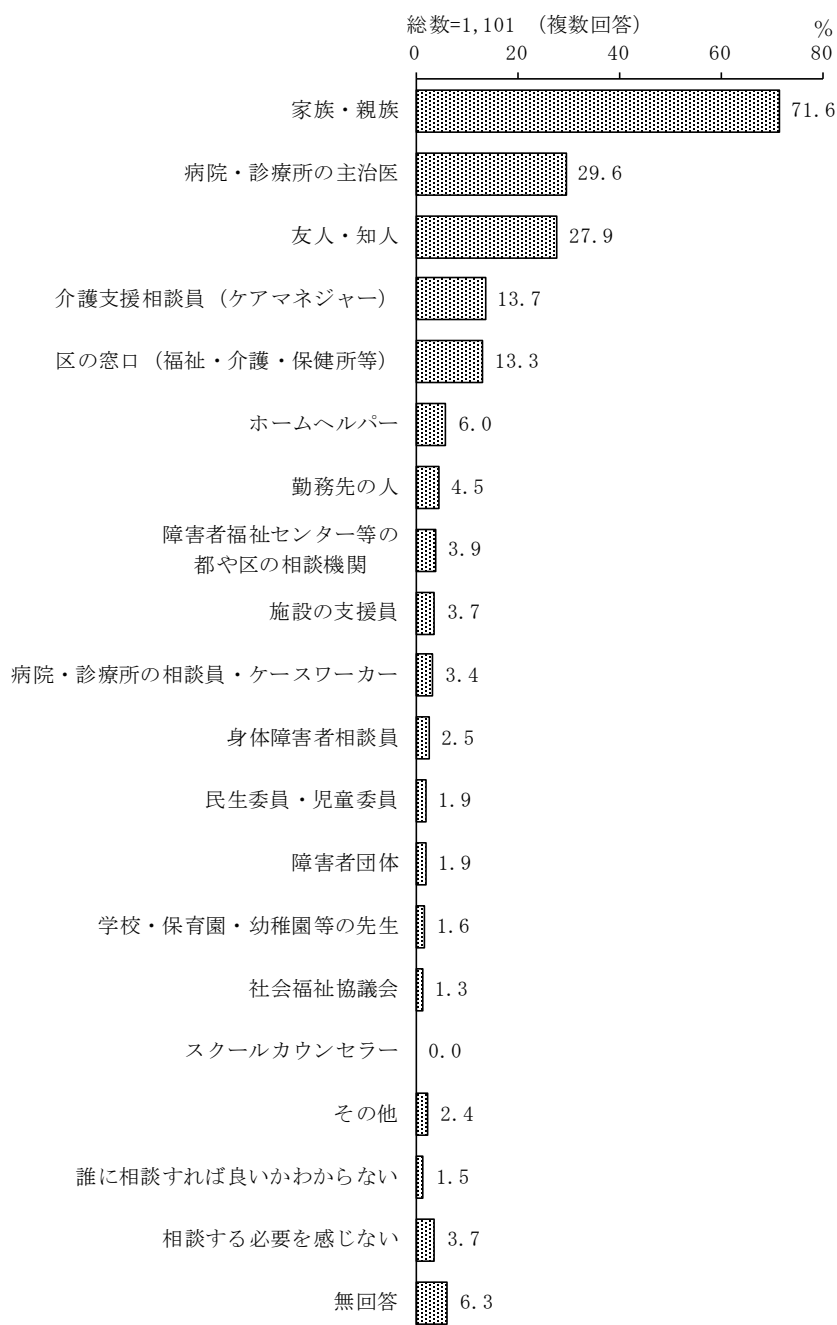
## 8. 相談について

### (1) 困ったときの相談先

問 29 あなたが困ったときや悩んだ時の相談先について、次のうちからお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「家族・親族」が71.6%と最も多く、次いで「病院・診療所の主治医」が29.6%、友人・知人が27.9%、「介護支援相談員（ケアマネジャー）」が13.7%、「区の窓口（福祉・介護・保健所等）」が13.3%となっています。

【問 29 困ったときの相談先】

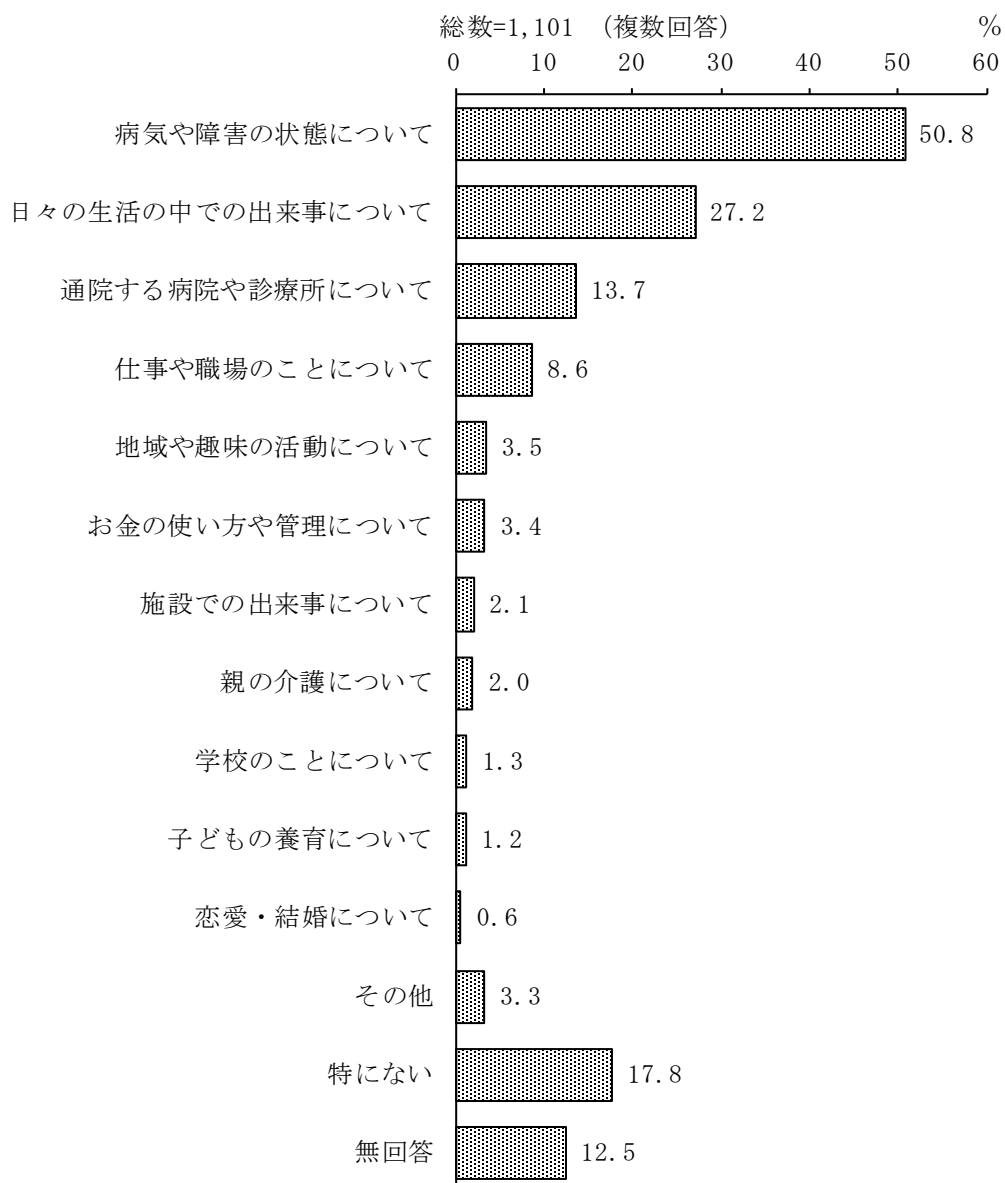


## (2) 相談の内容

問 30 あなたは、どのようなことについて相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「病気や障害の状態について」が 50.8%と最も多く、次いで「日々の生活の中での出来事について」が 27.2%、「通院する病院や診療所について」が 13.7%、「仕事や職場のことについて」が 8.6%となっています。

【問 30 相談の内容】



## 9. 障害福祉サービス等の利用について

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく、障害福祉サービス等のご利用状況について伺いました。

**\* 障害福祉サービス等には大きく分けて訪問系サービス、日中活動系サービス、居住系サービス、地域生活支援事業があります。**

訪問系サービス等	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、短期入所(ショートステイ)
日中活動系サービス	生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、 児童発達支援、療養介護
居住系サービス	グループホーム、ケアホーム、施設入所支援等
地域生活支援事業	相談支援、移動支援、コミュニケーション支援、日常生活用具の給付等

- ★現在障害福祉サービス等を利用されている方には**[A]**（問 31～問 32）の設問にお答えいただきました。
- ★さらに、施設入所されている方には、**[B]**（問 33～問 36-④）についてもお答えいただきました。
- ★障害福祉サービス等を利用していない方には**[C]**（問 37）へお進み頂きました。

### [A] 障害福祉サービス等を利用している方

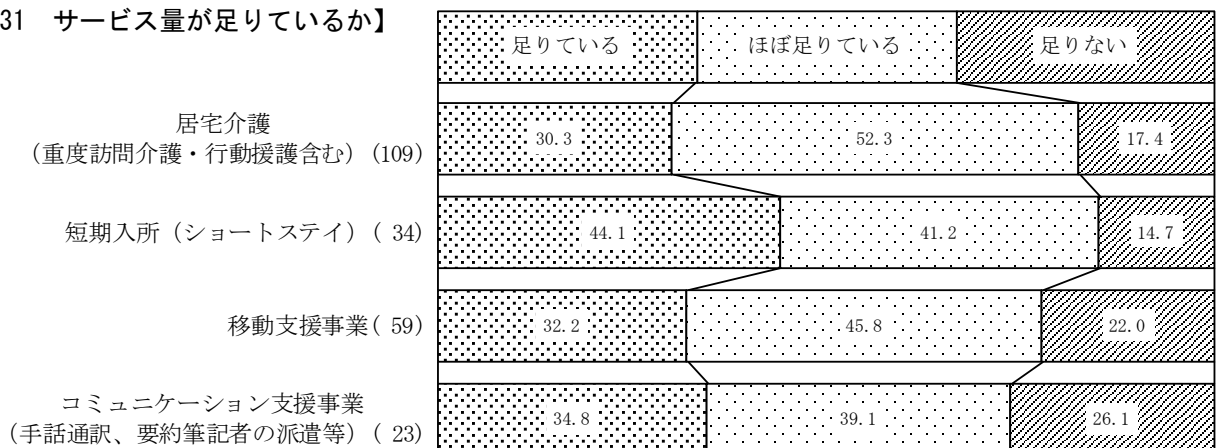
#### （1）サービス量が足りているか

問 31 現在利用されている障害福祉サービス等の量についてお聞きします。  
あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

利用しているという回答の中では、全般に「足りている」、「ほぼ足りている」という回答が多くなっています。「足りない」という回答は、「コミュニケーション支援事業（手話通訳、要約筆記者の派遣等）」が 26.1%と最も多く、次いで「移動支援事業」が 22.0%、「居宅介護（重度訪問介護、行動援護含む）」が 17.4%、「短期入所（ショートステイ）」が 14.7%となっています。

単位：%

【問 31 サービス量が足りているか】



※ 利用していると回答のあった方だけで集計しています。各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

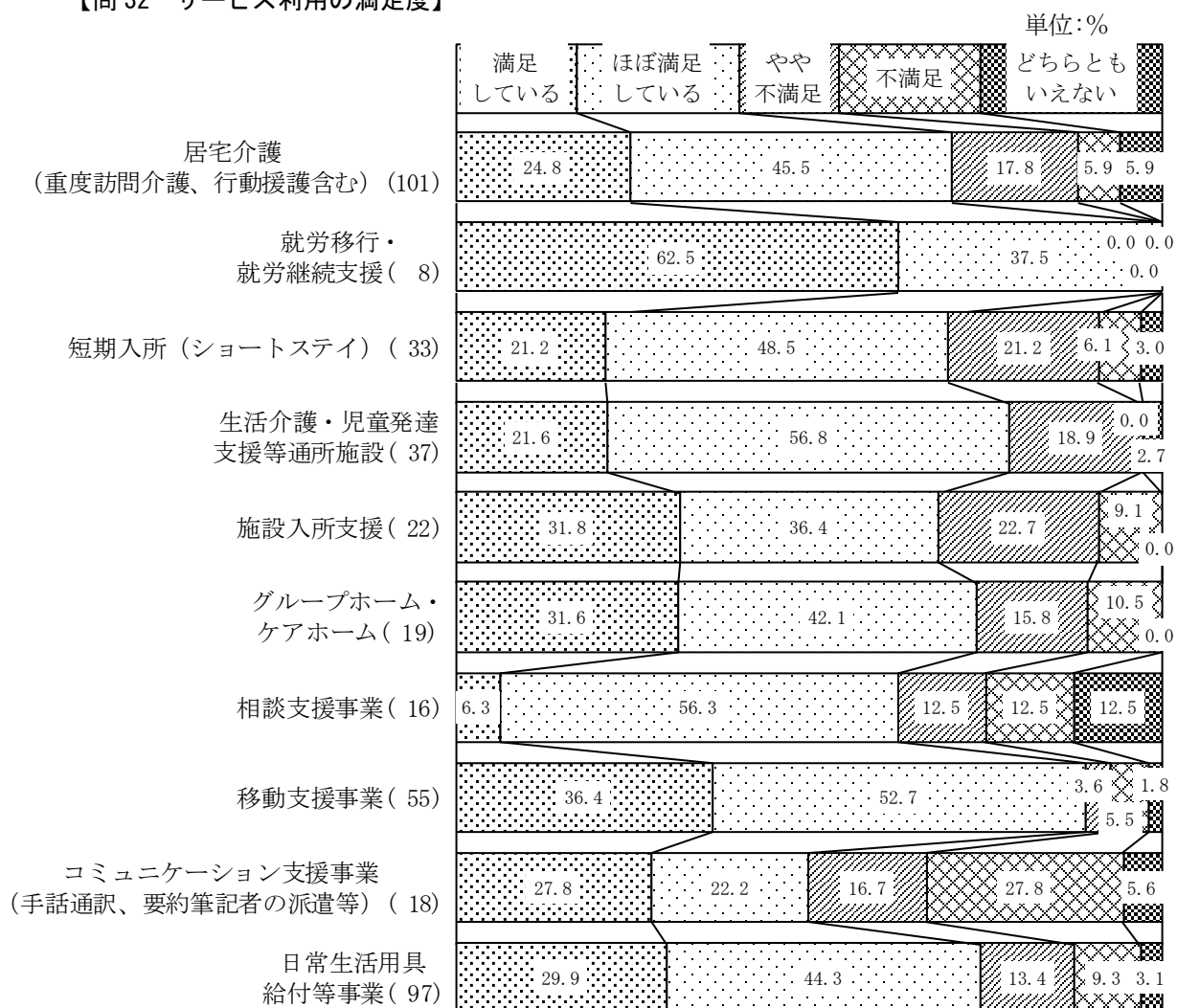
## (2) サービス利用の満足度

問 32 利用されているサービスの内容についてお聞きします。

あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

利用しているという回答の中では、全般に「満足している」、「ほぼ満足している」という回答が多くなっています。「やや不満足」、「不満足」という回答は、「コミュニケーション支援事業（手話通訳、要約筆記者の派遣等）」でやや多くなっています。

【問 32 サービス利用の満足度】



※利用していると回答のあった方だけで集計しています。各項目横の ( ) で記載されている数は回答者数を表しています。



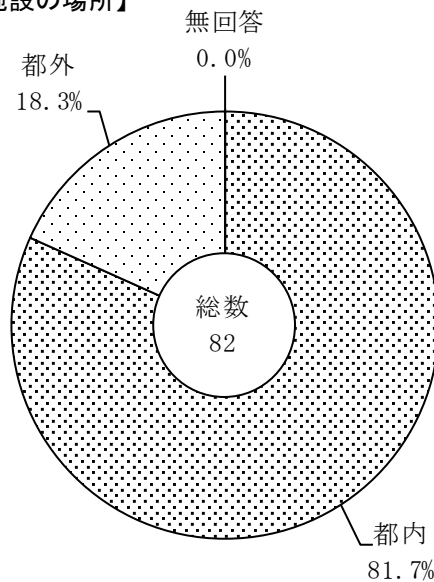
**[B] 施設入所支援(通勤寮含む)、病院、特別養護老人ホーム、児童施設等に入所されている方**

(3) 入所施設の場所

問 33 現在入所されている施設はどちらにありますか。(1つに○)

「都内」が81.7%、「都外」が18.3%となっています。

【問 33 入所施設の場所】

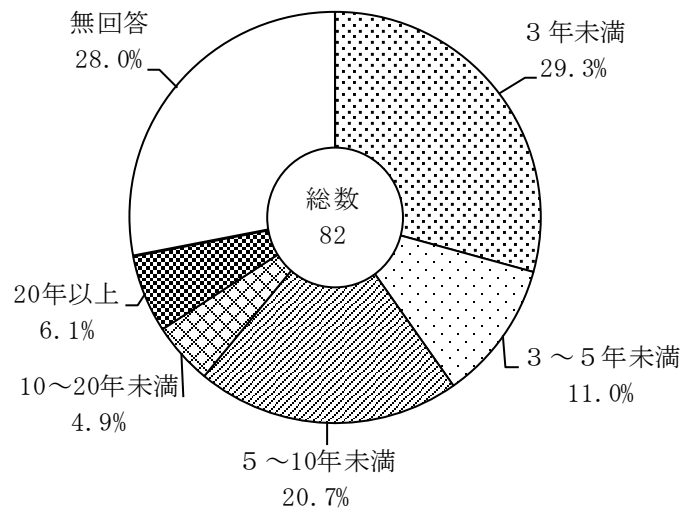


(4) 入所年数

問 34 施設に入所されて何年くらいですか

「3年未満」が29.3%と最も多く、次いで「5～10年未満」が20.7%、「3～5年未満」が11.0%、「20年以上」が6.1%となっています。約3割の方が、「5年以上」の入所年数となっています。

【問 34 入所年数】

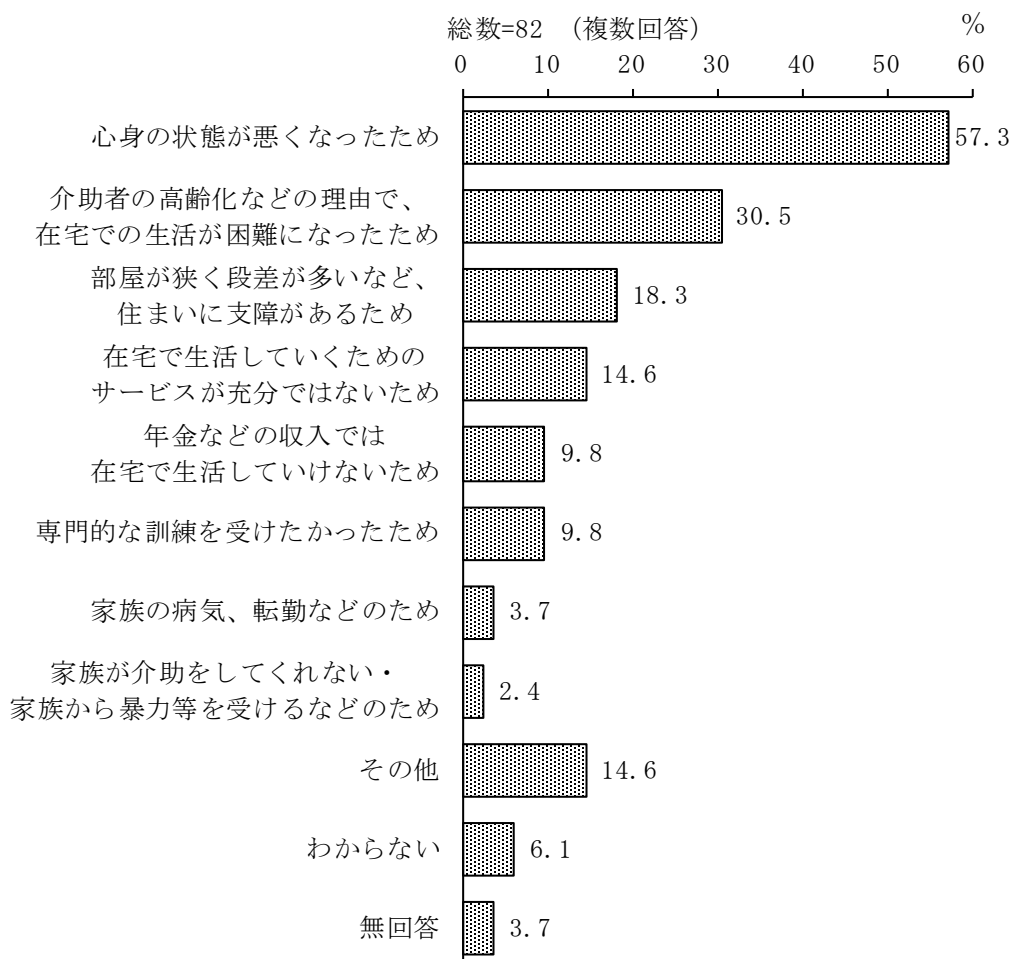


## (5) 施設に入所することになった理由

問 35 現在の施設に入所することとなった理由について、あてはまるものを次のうちからお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「心身の状態が悪くなったため」が57.3%と最も多く、次いで「介助者の高齢化などの理由で、在宅での生活が困難になったため」が30.5%、「部屋が狭く段差が多いなど、住まいに支障があるため」が18.3%、「在宅で生活していくためのサービスが充分ではないため」が14.6%、「年金などの収入では在宅で生活していけないため」と「専門的な訓練を受けたかったため」がそれぞれ9.8%となっています。「その他」では、「家族の事情で介助できなくなったため」などの回答がありました。

【問 35 施設に入所することになった理由】

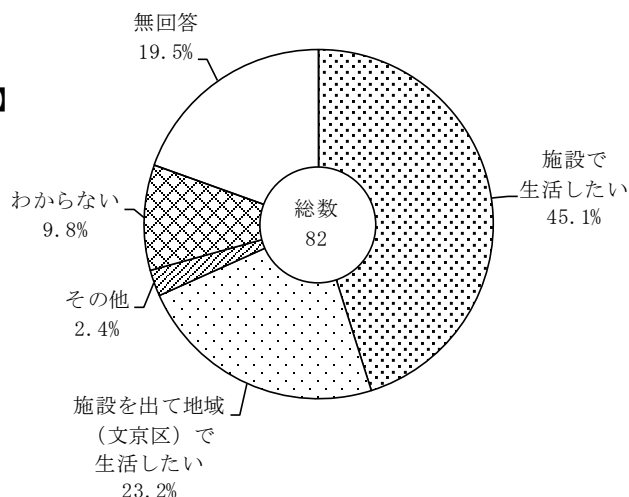


## (6) 今後生活したい場所

問 36-① 今後、どちらで生活したいですか。(1つに○)

「施設で生活したい」が45.1%、「施設を出て地域(文京区)で生活したい」が23.2%となっています。

【問 36-① 今後生活したい場所】

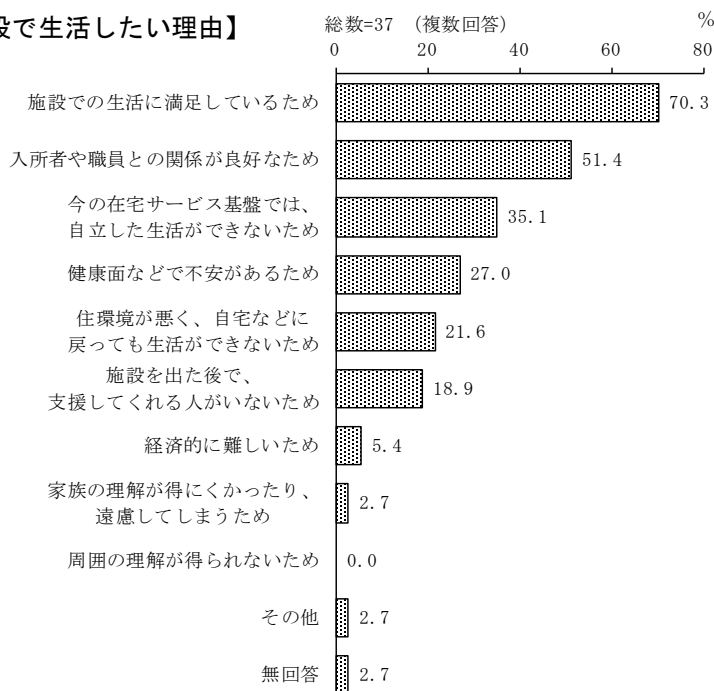


## (7) 施設で生活したい理由

問 36-② 問 36-①で「施設で生活したい」に○をつけた方にお聞きします。施設で生活したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「施設での生活に満足しているため」が70.3%と最も多く、次いで「入所者や職員との関係が良好なため」が51.4%、「今の在宅サービス基盤では、自立した生活ができないため」が35.1%、「健康面などで不安があるため」が27.0%、「住環境が悪く、自宅などに戻っても生活ができないため」が21.6%となっています。

【問 36-② 施設で生活したい理由】

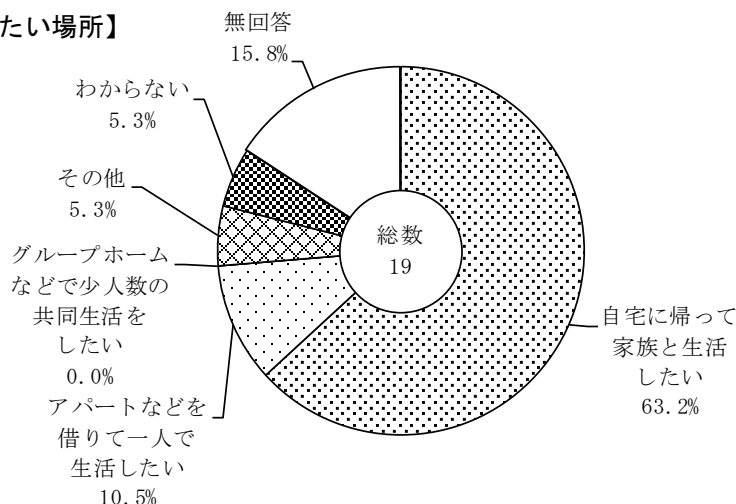


## (8) 地域で生活したい場所

問 36-③ 問 36-①で「施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞きします。施設を退所した後、どちらで生活したいですか。（1つに○）

「自宅に帰って家族と生活したい」が63.2%と最も多く、次いで「アパートなどを借りて一人で生活したい」が10.5%となっています。

【問 36-③ 地域で生活したい場所】

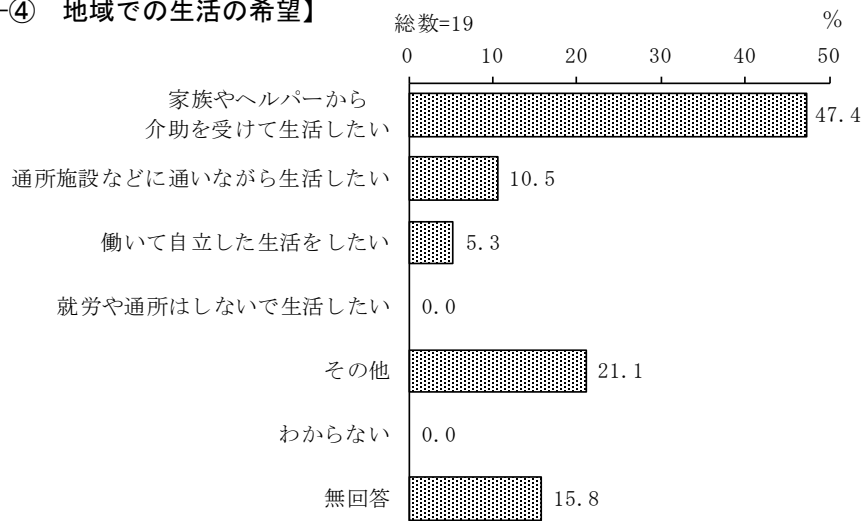


## (9) 地域での生活の希望

問 36-④ 問 36-①で「施設を出て地域（文京区）で生活したい」と答えた方にお聞きします。施設を退所した後、どのような生活を送りたいですか。（あてはまるものすべてに○）

「家族やヘルパーから介助を受けて生活したい」が47.4%と最も多く、次いで「通所施設などに通いながら生活したい」が10.5%、「働いて自立した生活をしたい」が5.3%となっています。「その他」では、「自立した生活をしたい」などの回答がありました。

【問 36-④ 地域での生活の希望】



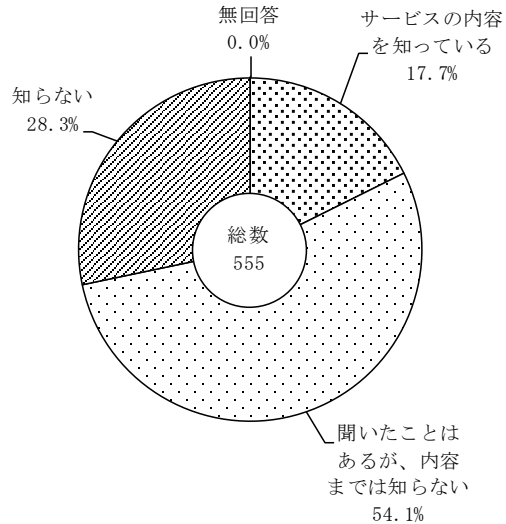
**【C】 障害福祉サービス等を利用していない方**

(10) 障害福祉サービス等の認知状況

問 37 障害福祉サービス等を知っていますか。(1つに○)

「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が 54.1%と最も多く、次いで「知らない」が 28.3%、「サービスの内容を知っている」が 17.7%となっています。

【問 37 障害福祉サービス等の認知状況】

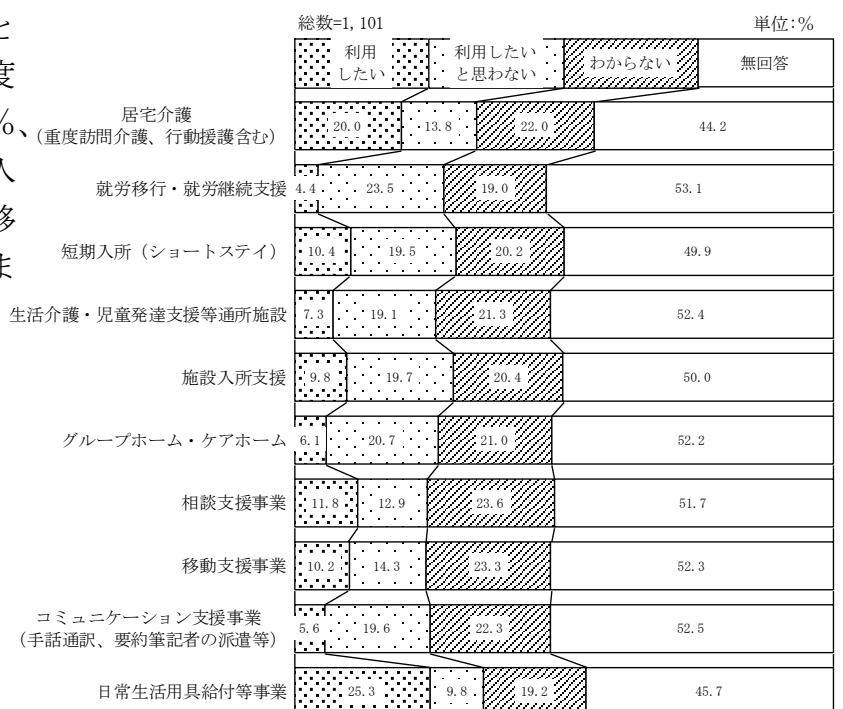


(11) サービスの利用希望

問 38 全ての方にお聞きします。 今後、利用、または利用継続を希望するサービスはありますか。あてはまるものについてそれぞれ回答を1つ選び、○をつけてください。

「利用したい」という回答は、「日常生活用具給付等事業」が 25.3%と最も多く、次いで「居宅介護（重度訪問介護、行動援護含む）」が 20.0%、「相談支援事業」が 11.8%、「短期入所（ショートステイ）」が 10.4%、「移動支援事業」が 10.2%となっています。

【問 38 サービスの利用希望】



# 10. 区におけるサービスについて

## (1) 区におけるサービスの認知状況・利用状況・利用意向

問 39 現在区で行っている、障害のある方への日常生活の支援について、利用状況と利用の意向をお聞かせください。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、○をつけてください。

### ①-1 文京区のサービスの認知状況

「知っている」という回答は、「福祉タクシー」が50.0%と最も多く、次いで「巡回入浴サービス」が42.3%、「紙おむつの支給」が34.3%、「障害者歯科健康診査・診療」が30.1%となっています。

【問 39①-1 文京区のサービスの認知状況】

総数=1,101

単位:%

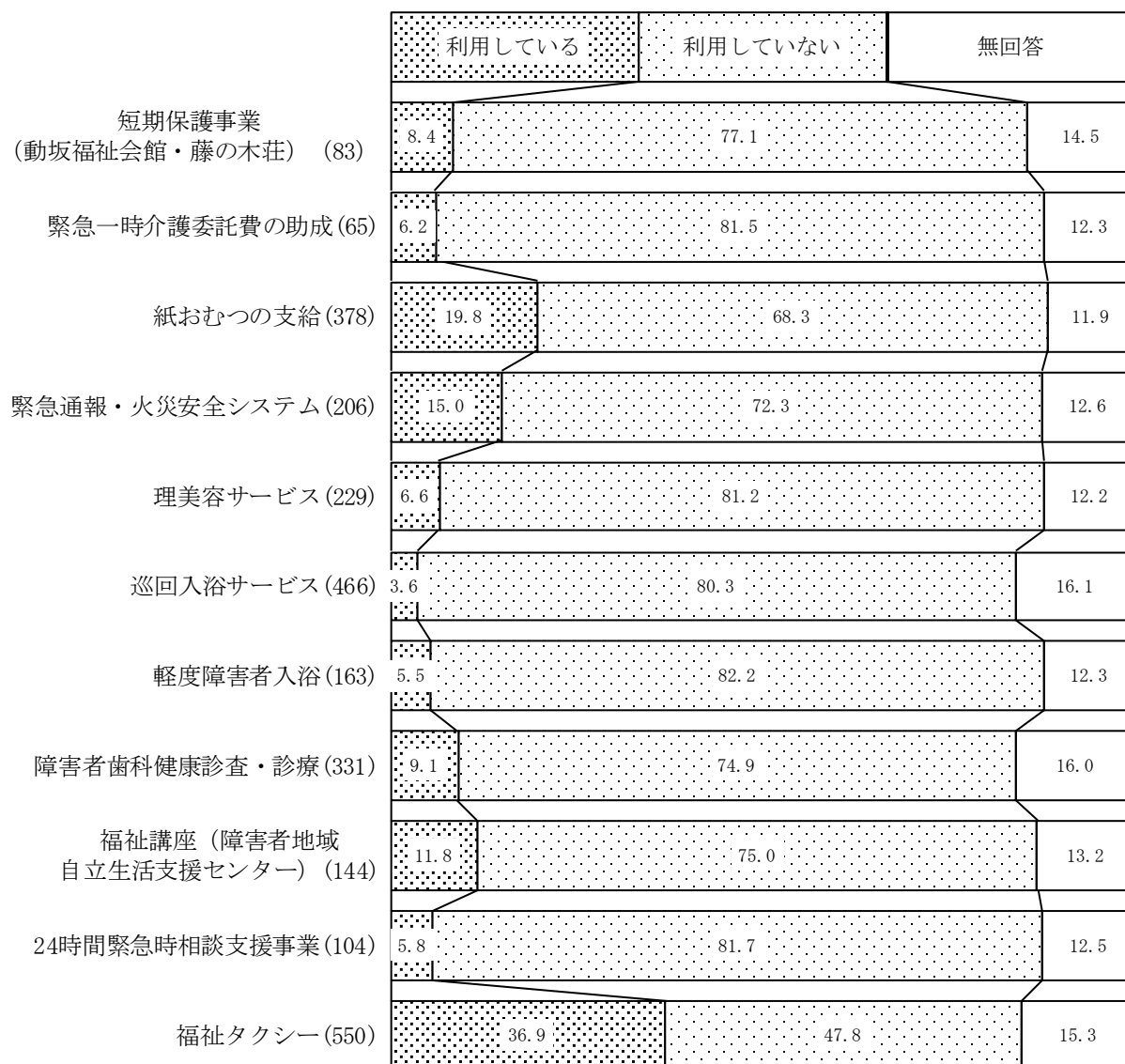
	知っている	知らない	無回答
短期保護事業 (動坂福祉会館・藤の木荘)	7.5	64.0	28.4
緊急一時介護委託費の助成	5.9	63.9	30.2
紙おむつの支給	34.3	37.5	28.2
緊急通報・火災安全システム	18.7	50.3	31.0
理美容サービス	20.8	50.2	29.0
巡回入浴サービス	42.3	29.6	28.1
軽度障害者入浴	14.8	54.4	30.8
障害者歯科健康診査・診療	30.1	41.2	28.7
福祉講座(障害者地域 自立生活支援センター)	13.1	56.3	30.6
24時間緊急時相談支援事業	9.4	60.0	30.5
福祉タクシー	50.0	26.3	23.7

## ①-2 文京区サービスの利用状況

「利用している」という回答は、「福祉タクシー」が36.9%と最も多く、次いで「紙おむつの支給」が19.8%、「緊急通報・火災安全システム」が15.0%、「福祉講座（障害者地域自立生活支援センター）」が11.8%、「障害者歯科健康診査・診療」が9.1%となっています。

【問 39①-2 文京区サービスの利用状況】

単位：%



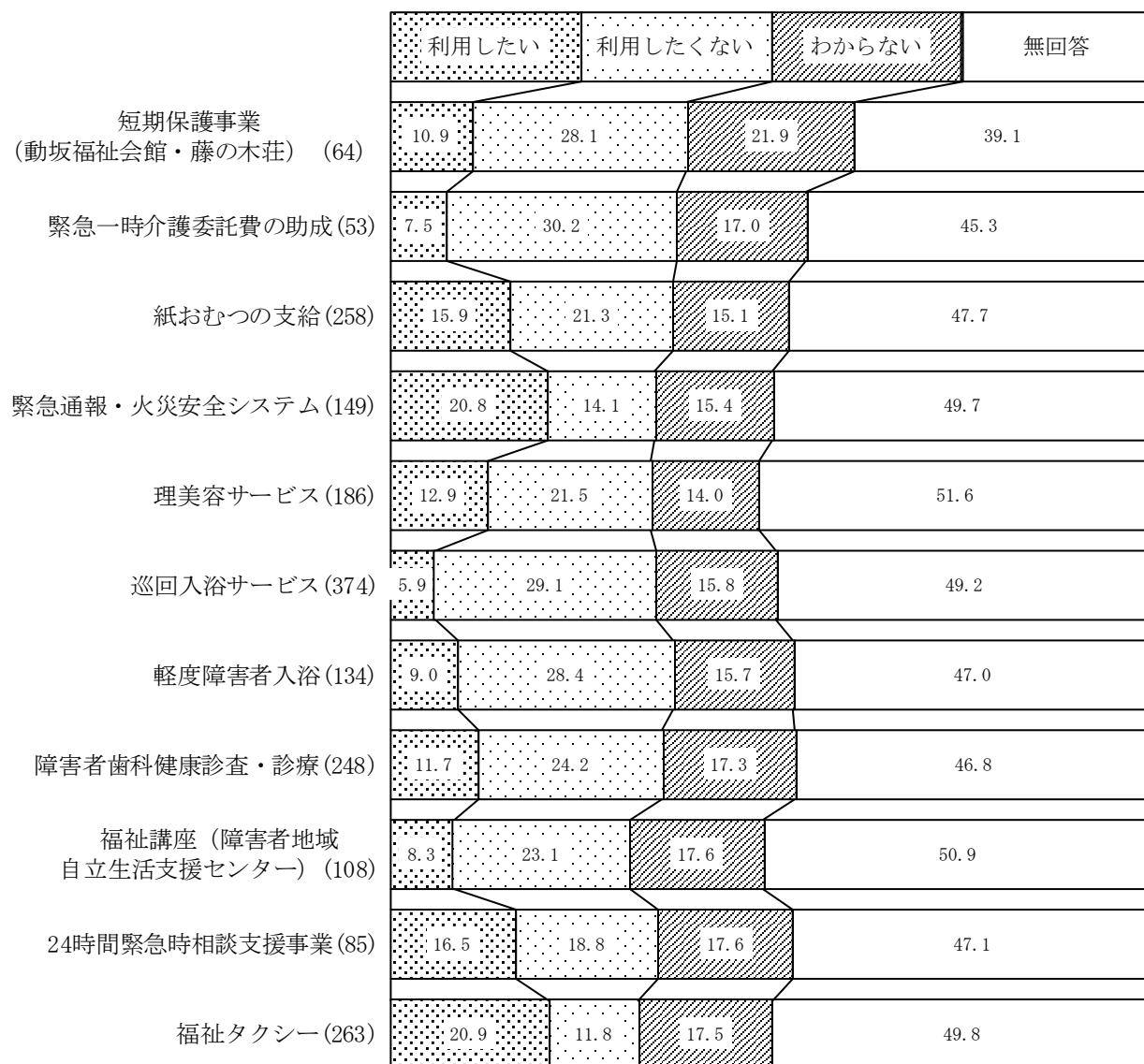
※各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

### ①-3 文京区のサービスの利用意向

「利用したい」という回答は、「福祉タクシー」が20.9%と最も多く、次いで「緊急通報・火災安全システム」が20.8%、「24時間緊急時相談支援事業」が16.5%、「紙おむつの支給」が15.9%、「理美容サービス」が12.9%となっています。

【問 39①-3 文京区のサービスの利用意向】

単位：%



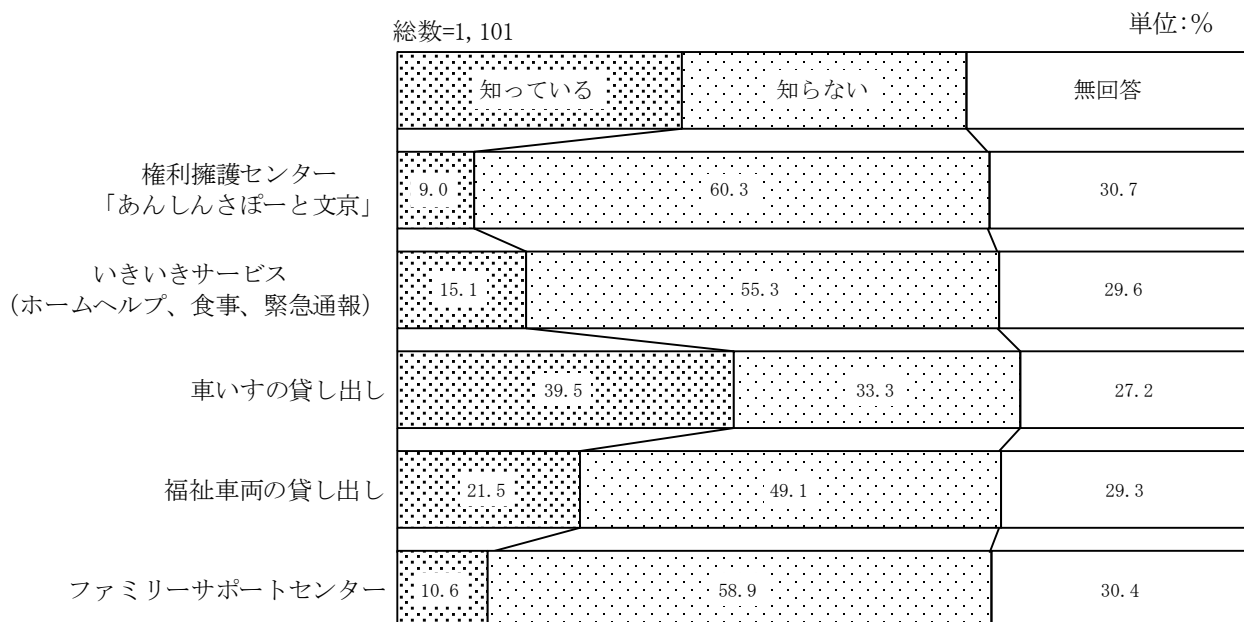
※各項目横の ( ) で記載されている数は回答者数を表しています。



## ②-1 社会福祉協議会のサービスの認知状況

「知っている」という回答は、「車いすの貸し出し」が39.5%と最も多く、次いで「福祉車両の貸し出し」が21.5%、「いきいきサービス（ホームヘルプ、食事、緊急通報）」が15.1%、「ファミリーサポートセンター」が10.6%、「権利擁護センター『あんしんさぼーと文京』」が9.0%となっています。

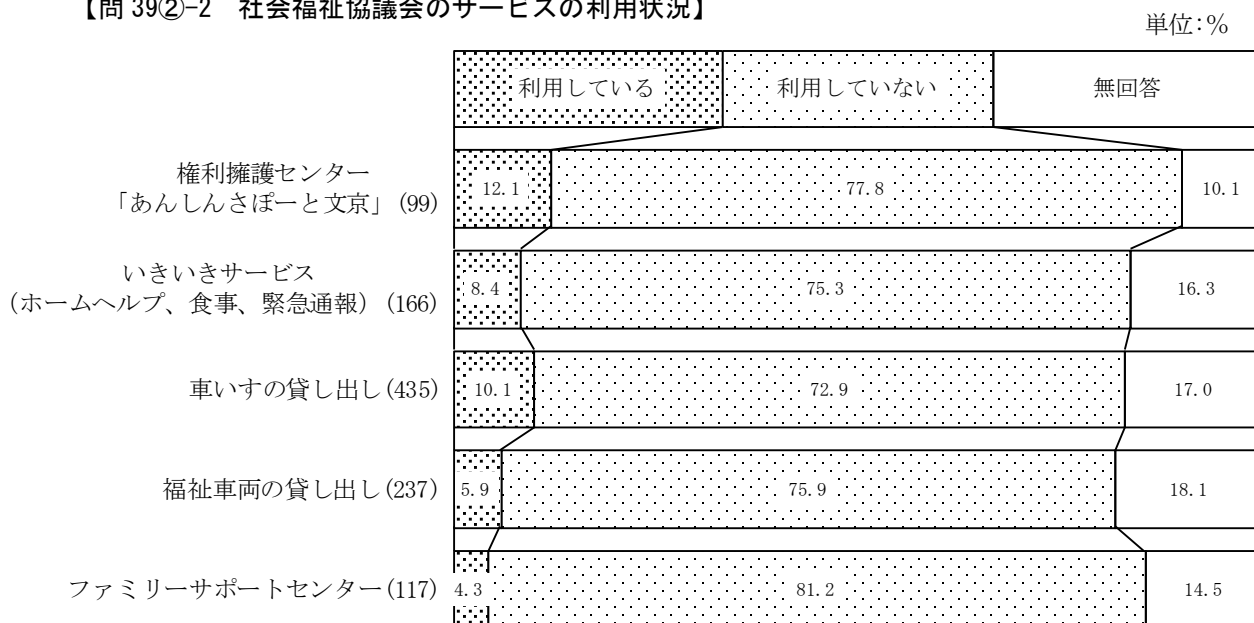
【問 39②-1 社会福祉協議会のサービスの認知状況】



## ②-2 社会福祉協議会のサービスの利用状況

「利用している」という回答は、「権利擁護センター『あんしんさぼーと文京』」が12.1%と最も多く、次いで「車いすの貸し出し」が10.1%、「いきいきサービス（ホームヘルプ、食事、緊急通報）」が8.4%となっています。

【問 39②-2 社会福祉協議会のサービスの利用状況】

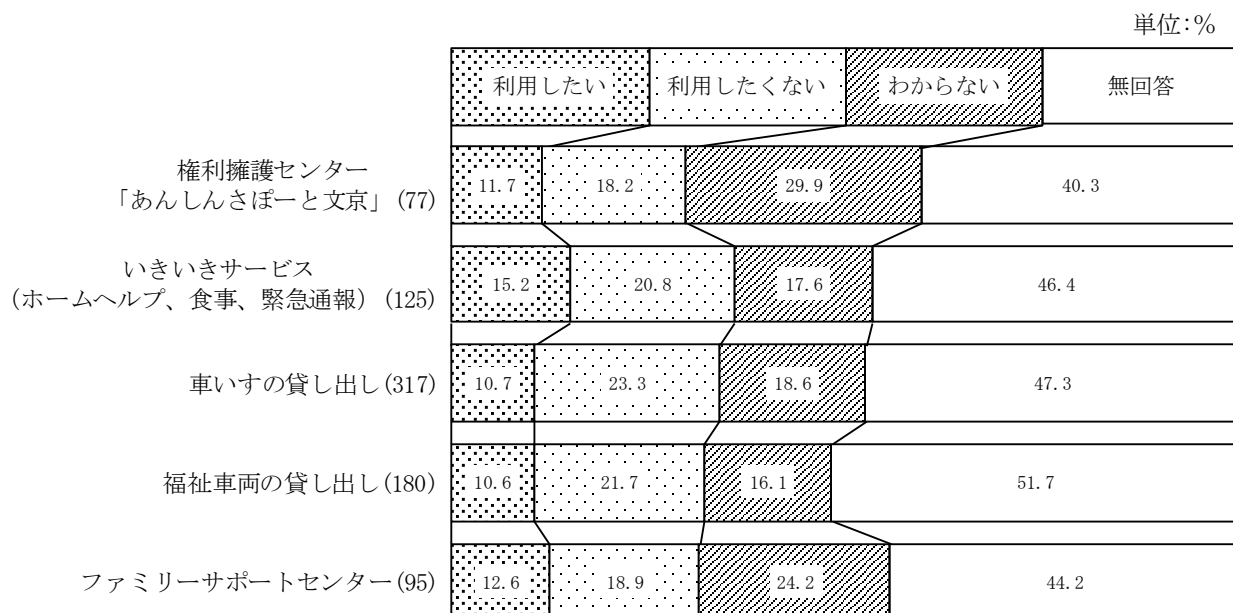


※各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

### ②-3 社会福祉協議会のサービスの利用意向

「利用したい」という回答は、「いきいきサービス（ホームヘルプ、食事、緊急通報）」が15.2%と最も多く、次いで「ファミリーサポートセンター」が12.6%、「権利擁護センター『あんしんさぽーと文京』」が11.7%、「車いすの貸し出し」が10.7%、「福祉車両の貸し出し」が10.6%となっています。

【問 39②-3 社会福祉協議会のサービスの利用意向】



※各項目横の（ ）で記載されている数は回答者数を表しています。

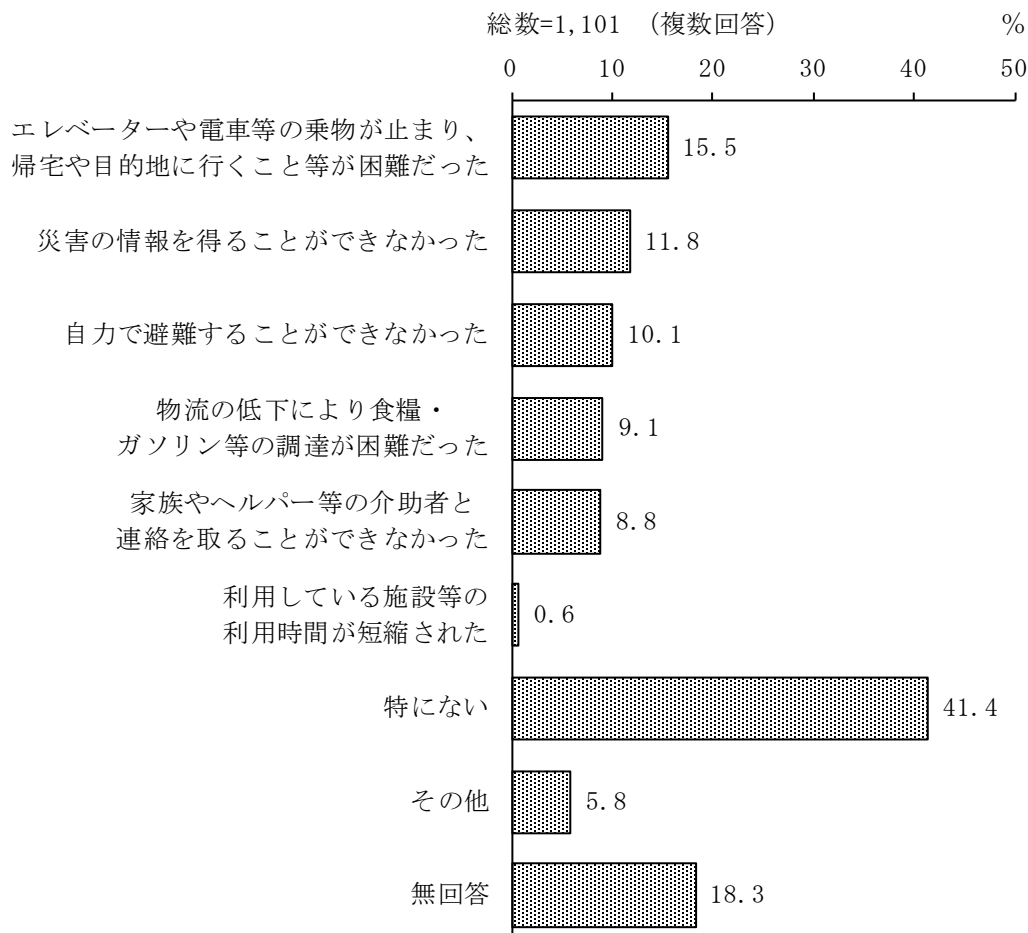
## 11. 災害対策・情報提供について

### (1) 東日本大震災において困ったこと

問 40 東日本大震災（平成 23 年 3 月 11 日）において、あなたが困ったことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「エレベーターや電車等の乗物が止まり、帰宅や目的地に行くこと等が困難だった」が 15.5%と最も多く、次いで「災害の情報を得ることができなかった」が 11.8%、「自力で避難することができなかった」が 10.1%、「物流の低下により食糧・ガソリン等の調達が困難だった」が 9.1%、「家族やヘルパー等の介助者と連絡を取ることができなかった」が 8.8%となっています。「特にない」は 41.4%でした。

【問 40 東日本大震災において困ったこと】

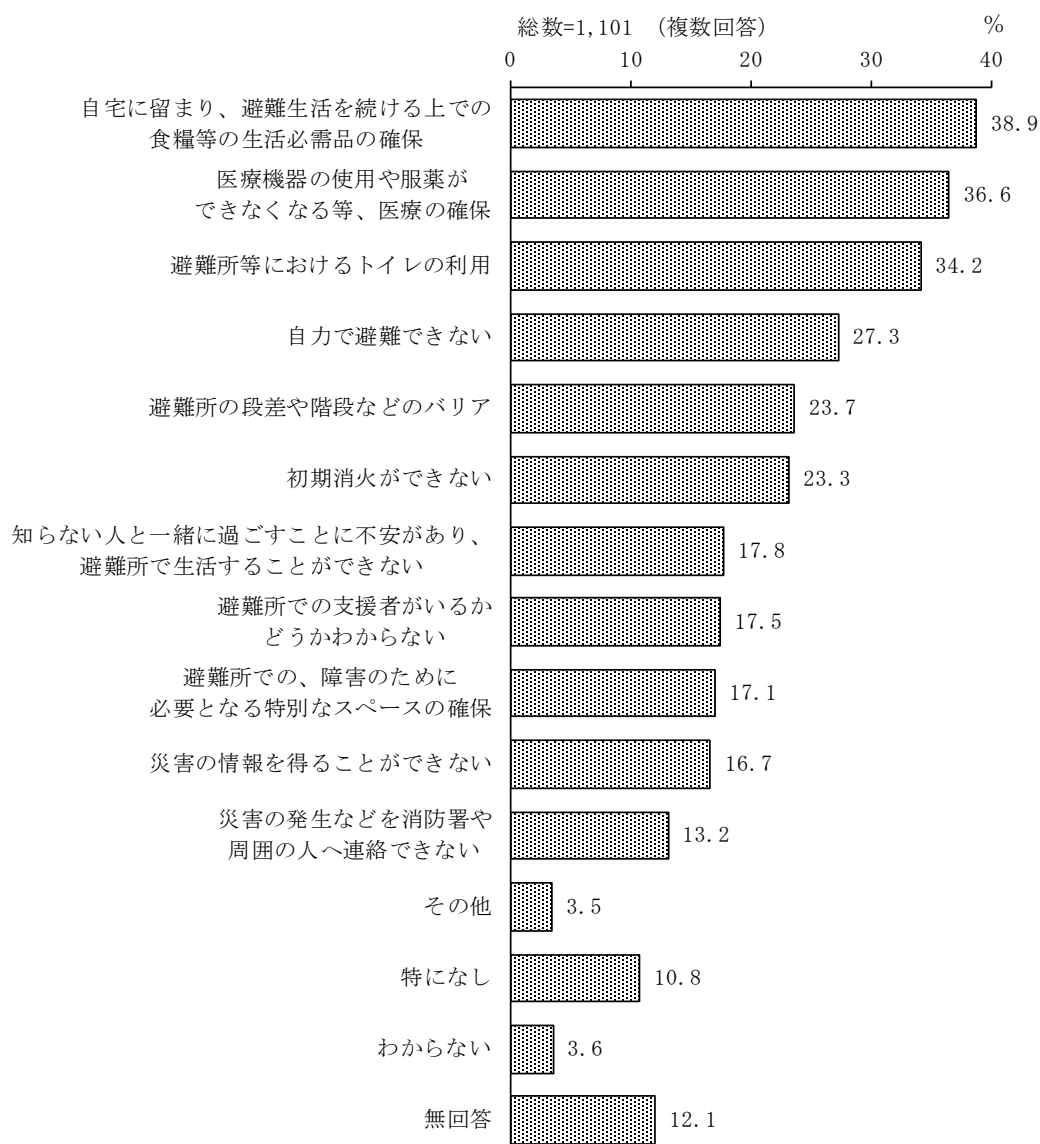


## (2) 災害に関して不安に感じていること

問 41 地震や火事などの災害に関してあなたが不安に感じていることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

「自宅に留まり、避難生活をする上での食糧等の生活必需品の確保」が 38.9%と最も多く、次いで「医療機器の使用や服薬ができなくなる等、医療の確保」が 36.6%、「避難所等におけるトイレの利用」が 34.2%、「自力で避難できない」が 27.3%、「避難所の段差や階段などのバリア」が 23.7%となっています。

【問 41A 災害に関して不安に感じていること】



全体では「自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の生活必需品の確保」の割合が最も多くなっていますが、「医療機器の使用や服薬が出来なくなる等、医療の確保」という回答の割合は、内部障害、精神疾患の方で多くなっています。

【問 41B 災害に関して不安に感じていること（障害の部位別）】

上段：実数 下段：割合	全体	災害の情報が得られない	連絡がとれない	災害の発生などを知らせる手段がない	初期消火ができない	自力で避難できない	生活に必要なものが不足している	知らない人と一緒に過ごすことができない	階段などの段差やバリア	避難所の確保が難しい	避難所での支援者がいない
	全体	1,101 100.0	184 16.7	145 13.2	256 23.3	301 27.3	196 17.8	261 23.7	193 17.5		
障害の部位	視覚	199 100.0	34 17.1	31 15.6	77 38.7	83 41.7	55 27.6	63 31.7	59 29.6		
	聴覚・平衡機能	230 100.0	72 31.3	57 24.8	62 27.0	74 32.2	43 18.7	54 23.5	55 23.9		
	音声・言語・そしゃく機能	93 100.0	14 15.1	28 30.1	31 33.3	36 38.7	25 26.9	26 28.0	18 19.4		
	肢体不自由	450 100.0	65 14.4	66 14.7	126 28.0	178 39.6	87 19.3	152 33.8	87 19.3		
	内部障害	378 100.0	45 11.9	33 8.7	75 19.8	79 20.9	53 14.0	67 17.7	48 12.7		
	精神疾患	17 100.0	3 17.6	2 11.8	5 29.4	7 41.2	5 29.4	5 29.4	4 23.5		
	その他	40 100.0	7 17.5	5 12.5	12 30.0	17 42.5	7 17.5	12 30.0	9 22.5		
	無回答	25 100.0	2 8.0	4 16.0	5 20.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0		

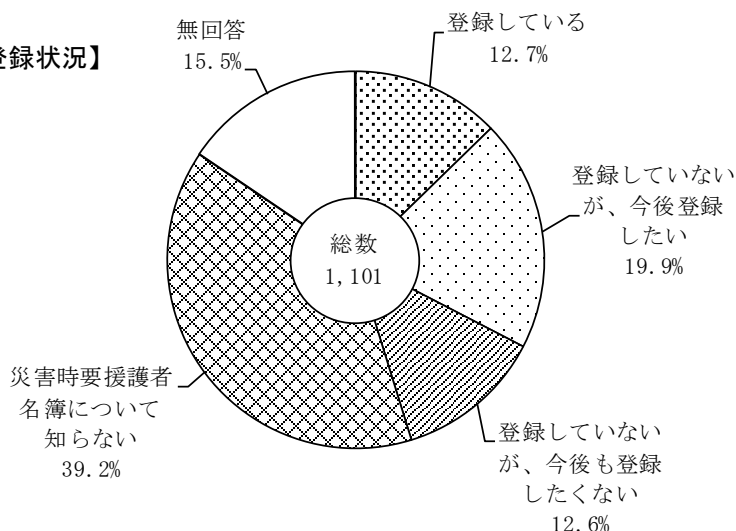
上段：実数 下段：割合	必要となる特別な確保のために	避難所での利用が困難なため	医療機器の確保が困難なため	服薬が困難なため	医療機器の使用が困難なため	生活必需品の確保が困難なため	自宅に留まり、避難生活を続ける上での食糧等の確保が困難なため	その他	特になし	わからない	無回答
	全体	188 17.1	377 34.2	403 36.6	428 38.9	39 3.5	119 10.8	40 3.6	133 12.1		
障害の部位	視覚	36 18.1	73 36.7	67 33.7	85 42.7	7 3.5	15 7.5	5 2.5	27 13.6		
	聴覚・平衡機能	38 16.5	64 27.8	76 33.0	72 31.3	11 4.8	19 8.3	10 4.3	39 17.0		
	音声・言語・そしゃく機能	24 25.8	28 30.1	35 37.6	33 35.5	3 3.2	13 14.0	6 6.5	12 12.9		
	肢体不自由	120 26.7	208 46.2	172 38.2	189 42.0	19 4.2	38 8.4	14 3.1	48 10.7		
	内部障害	56 14.8	119 31.5	171 45.2	157 41.5	8 2.1	47 12.4	11 2.9	42 11.1		
	精神疾患	5 29.4	3 17.6	10 58.8	8 47.1	-	-	1 5.9	3 17.6		
	その他	6 15.0	14 35.0	23 57.5	20 50.0	1 2.5	2 5.0	2 5.0	3 7.5		
	無回答	1 4.0	4 16.0	2 8.0	4 16.0	-	4 16.0	1 4.0	11 44.0		

### (3) 災害時要援護者名簿への登録状況

問 42-① 災害時要援護者名簿についてお聞きします。あなたは現在登録をしていますか。(1つに○)

「災害時要援護者名簿について知らない」が39.2%と最も多く、次いで「登録していないが、今後登録したい」が19.9%、「登録している」が12.7%、「登録していないが、今後登録したくない」が12.6%となっています。

【問 42-①A 災害時要援護者名簿への登録状況】



#### 災害時要援護者名簿とは

災害時に自力で避難することが困難な方（災害時要援護者）を発災時に地域全体で支援するため、本人等の申請に基づき、区が整備する名簿。

「登録している」という回答の割合は、一人暮らしの方で多くなっています。

【問 42-①B 災害時要援護者名簿への登録状況（家族構成別）】

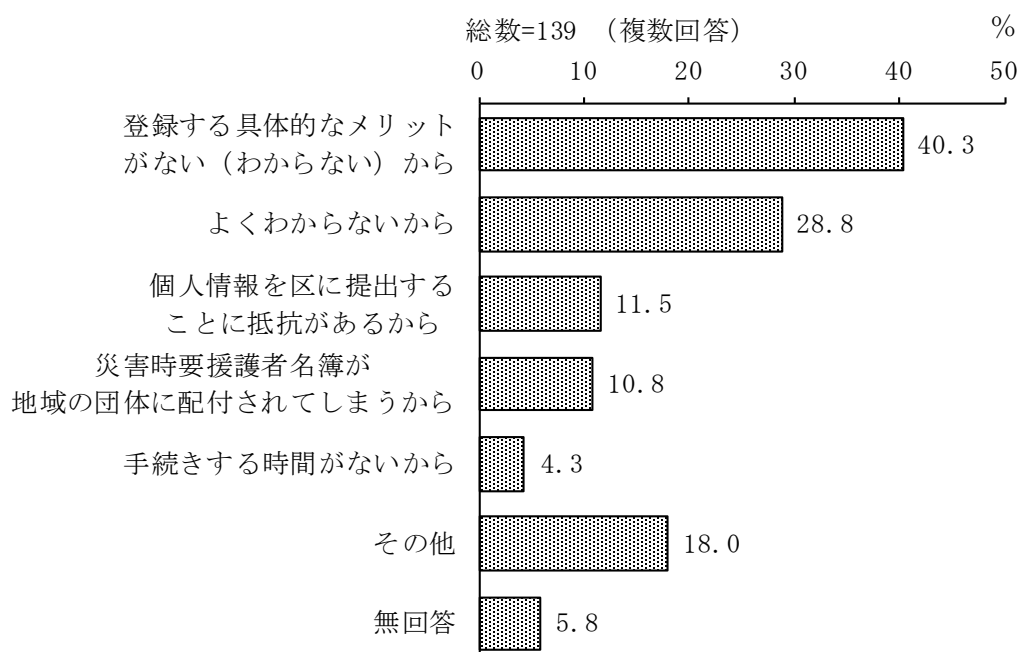
	全体	登録している	今後登録したいが、	今後登録しないが、	災害時要援護者名簿について知らない	無回答	
							上段：実数
全体	1,101	140	219	139	432	171	
	100.0	12.7	19.9	12.6	39.2	15.5	
家族構成	家族と同居	759	77	164	103	305	110
		100.0	10.1	21.6	13.6	40.2	14.5
	一人暮らし	276	55	47	28	104	42
		100.0	19.9	17.0	10.1	37.7	15.2
その他	54	7	7	8	20	12	
	100.0	13.0	13.0	14.8	37.0	22.2	
無回答	12	1	1	-	3	7	
	100.0	8.3	8.3	-	25.0	58.3	

#### (4) 災害時要援護者名簿に登録したくない理由

問 42-② 問 42-①で「登録していないが、今後も登録したくない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「登録する具体的なメリットがない(わからない)から」が40.3%と最も多く、次いで「よくわからないから」が28.8%、「個人情報を区に提出することに抵抗があるから」が11.5%、「災害時要援護者名簿が地域の団体に配付されてしまうから」が10.8%となっています。「その他」では、「自力で避難できるから」などの回答がありました。

##### 【問 42-② 災害時要援護者名簿に登録したくない理由】

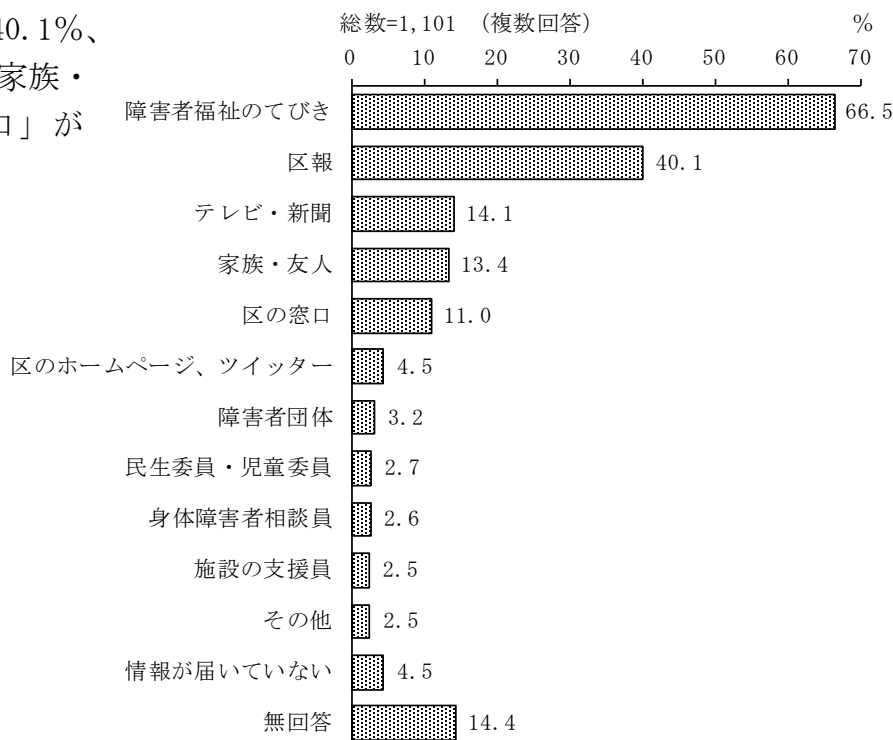


## (5) サービスなどの情報源

問 43 区が実施している障害者に対するサービスなどの情報は、あなたに届いていますか。情報源となっているものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

「障害者福祉のてびき」が66.5%と最も多く、次いで「区報」が40.1%、「テレビ・新聞」が14.1%、「家族・友人」が13.4%、「区の窓口」が11.0%となっています。

【問 43 サービスなどの情報源】

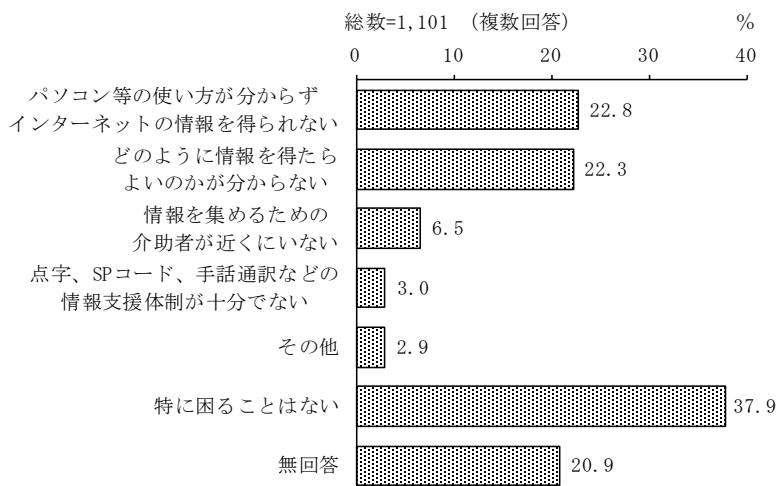


## (6) 情報を得たいときに困ること

問 44 あなたが必要な情報を得たいときに、困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「パソコン等の使い方が分からずインターネットの情報を得られない」が22.8%と最も多く、次いで「どのように情報を得たらよいか分からない」が22.3%、「情報を集めるための介助者が近くにいない」が6.5%となっています。

【問 44 情報を得たいときに困ること】





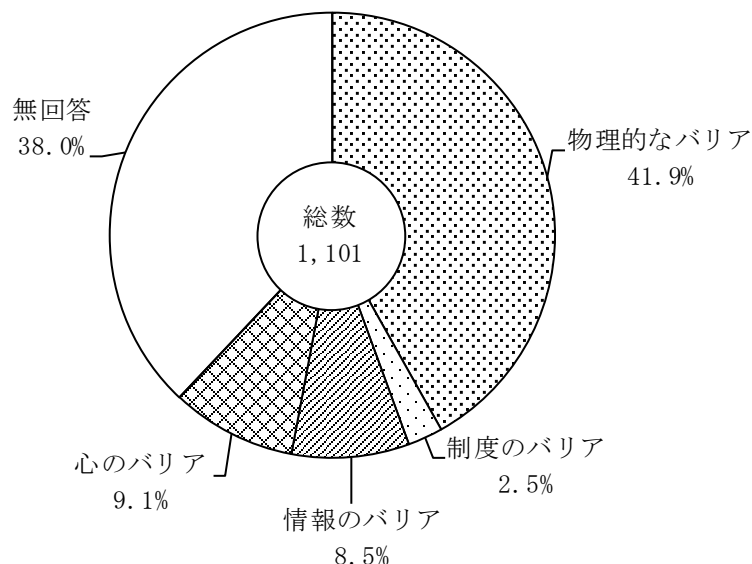
## 12. 生活のしづらさについて

### (1) 日々の生活の中で感じるバリアについて

問 45 日々の生活の中で感じる生活のしづらさについてお聞きします。  
障害者が生活する中で不便と感じていることについて、以下の4つのバリア(=“不便なこと・困ること”)に分けられるとされています。日々の生活の中で、あなたはどのバリアを1番強く感じますか。いずれか1つの番号を選び、○をつけてください。

「物理的なバリア」が41.9%と最も多く、次いで「心のバリア」が9.1%、「情報のバリア」が8.5%となっています。

【問 45 日々の生活の中で感じるバリアについて】



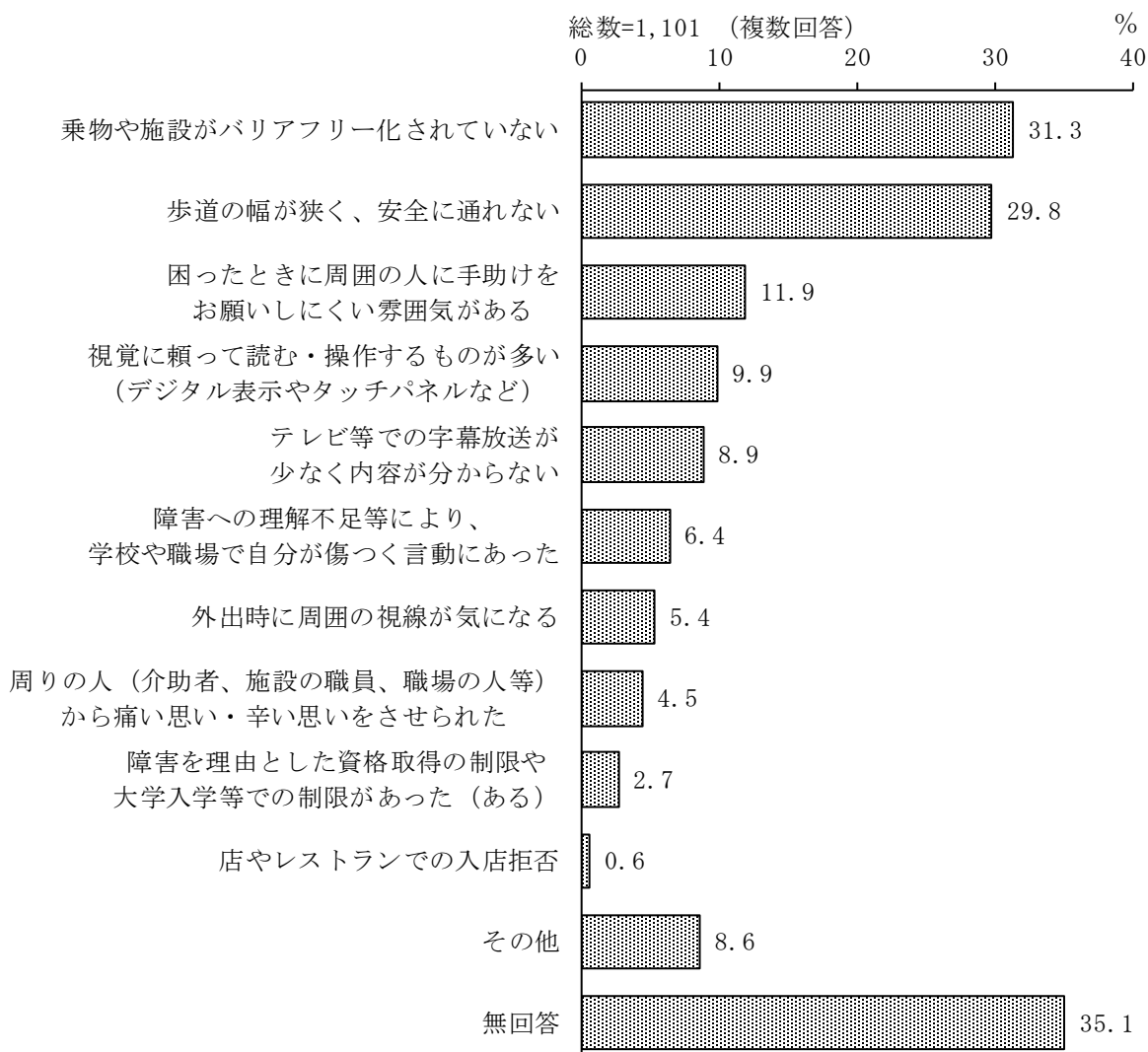
4つのバリア	不便と感ずること・困ることの例
1 物理的なバリア	歩道の段差、車いす使用者の通行を妨げる障害物、乗降口や出入口の段差等の物理的なバリア
2 制度のバリア	障害があることを理由に資格・免許等の付与を制限する等の制度的なバリア
3 情報のバリア	音声案内、点字、手話通訳、字幕放送、ルビや分かりやすい表示の欠如などによる文化・情報面でのバリア
4 心のバリア	心ない言葉や視線、障害者を庇護されるべき存在としてとらえる等の意識上のバリア（心の壁）

## (2) 障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じる理由

問 46 どのような理由で障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「乗物や施設がバリアフリー化されていない」が31.3%と最も多く、次いで「歩道の幅が狭く、安全に通れない」が29.8%、「困ったときに周囲の人に手助けをお願いしにくい雰囲気がある」が11.9%、「視覚に頼って読む・操作するものが多い（デジタル表示やタッチパネルなど）」が9.9%、「テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない」が8.9%となっています。

【問 46A 障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じる理由】



「歩道の幅が狭く、安全に通れない」、「視覚に頼って読む・操作するものが多い（デジタル表示やタッチパネルなど）」という回答の割合は視覚障害で多くなっています。また、「乗物や施設がバリアフリー化されていない」という回答の割合は肢体不自由で多く、「テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない」という回答の割合は聴覚・平衡機能障害で多くなっています。

【問 46B 障害者に対する理解不足や生活のしづらさを感じる理由（障害の部位別）】

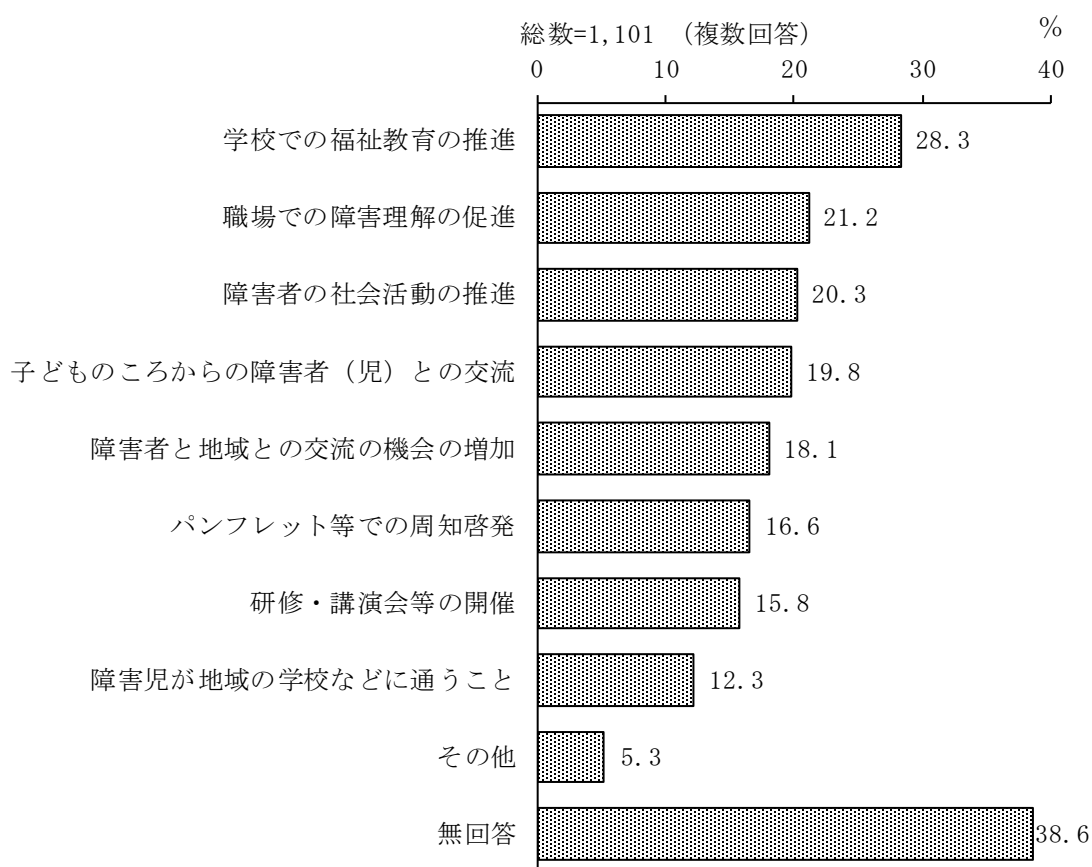
	全体	乗物や施設がバリアフリー化されていない	歩道の幅が狭く、安全に通れない	制限や大学入学等での制限があつた（ある）	障害を理由とした資格取得の制限があつた（ある）	テレビ等での字幕放送が少なく内容が分からない	デジタル表示や操作するものが多く（デジタル表示やタッチパネルなど）	視覚に頼って読む・操作するものが多く（デジタル表示やタッチパネルなど）	周囲が頼りにくい	手助けをお願いしにくい	券気がある	困ったときに周囲の人に頼りにくい	視線が気になる	外出時に周囲の状況が気になる	学校や職場で自分自身が理解不足等により、傷つく言動にあつた	障害への理解不足等により、入店やレストランでの拒否	店やレストランでの拒否	職場の人（介助者、施設の職員、辛い思いをさせられた	周りの人（介助者、施設の職員、辛い思いをさせられた	その他	無回答
上段：実数	1,101	345	328	30	98	109	131	59	71	7	49	95	386								
下段：割合	100.0	31.3	29.8	2.7	8.9	9.9	11.9	5.4	6.4	0.6	4.5	8.6	35.1								
障害の部位	視覚	199	67	91	9	15	79	41	17	3	12	9	51								
	聴覚・平衡機能	230	53	50	10	71	13	36	7	21	1	10	18	75							
	音声・言語・そしゃく機能	93	29	32	2	10	6	17	9	3	1	6	9	35							
	肢体不自由	450	190	153	9	17	22	50	33	20	5	25	41	141							
	内部障害	378	107	100	6	9	20	36	9	17	1	12	40	158							
	精神疾患	17	6	5	-	2	3	4	4	2	-	2	-	5							
	その他	40	10	10	1	4	3	9	4	1	-	4	5	12							
	無回答	25	4	4	-	-	-	-	1	2	-	-	-	18							
		100.0	16.0	16.0	-	-	-	-	4.0	8.0	-	-	-	72.0							

### (3) 障害理解を進めていくために必要なこと

問 47 どのように障害理解を進めていくべきだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

「学校での福祉教育の推進」が28.3%と最も多く、次いで「職場での障害理解の促進」が21.2%、「障害者の社会活動の推進」が20.3%、「子どもころからの障害者（児）との交流」が19.8%、「障害者と地域との交流の機会の増加」が18.1%となっています。

【問 47 障害理解を進めていくために必要なこと】



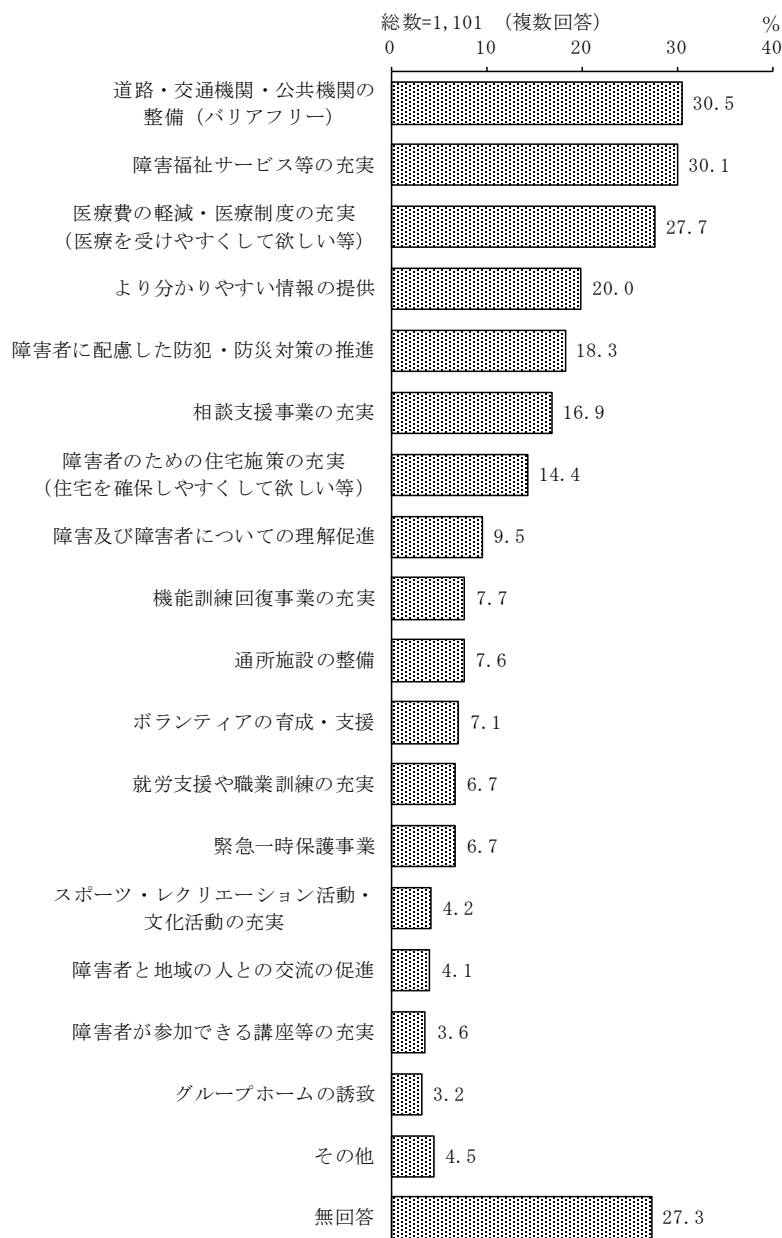
### 13. 要望事項

#### (1) 今後力を入れて欲しい施策や要望

問 48 今後力を入れて欲しい施策や要望をお答えください。  
(特にあてはまるものを5つまで○)

「道路・交通機関・公共機関の整備（バリアフリー）」が 30.5%と最も多く、次いで「障害福祉サービス等の充実」が 30.1%、「医療費の軽減・医療制度の充実（医療を受けやすくして欲しい等）」が 27.7%、「より分かりやすい情報の提供」が 20.0%、「障害者に配慮した防犯・防災対策の推進」が 18.3%となっています。

【問 48 今後力を入れて欲しい施策や要望】



## 14. 自由意見

問 49 この調査を通じて選択肢やその他の欄等だけでは表現しきれなかったこと、ご意見などがありましたら、自由にお書きください。

自由意見は236件ありました。「福祉」についての意見が29.7%と最も多く、次いで「障害・疾患」が28.4%、「生活環境」が18.6%、「行政」が16.1%、「情報・相談」が10.2%となっています。

【問 49 自由意見】

上段：実数 下段：割合	総数	福祉	障害・疾患	生活環境	行政	情報・相談	保健・医療	障害理解	将来	雇用・就労	教育・療育	その他
自由意見	236 100.0	70 29.7	67 28.4	44 18.6	38 16.1	24 10.2	23 9.7	18 7.6	13 5.5	12 5.1	5 2.1	87 36.9

### ◆主な意見（内容は要約・省略しています）

#### ①福祉

「介護サービスと障害福祉サービスがわかりづらい。介護サービス優先と言われている。」  
(70代/女性/上肢障害、下肢障害、体幹機能障害)

「現在、病院、趣味の講演会などには、手話通訳が依頼できます。しかし、こと仕事に関係する場合には、派遣はされません。障害者は、常に聞こえないので、仕事関係でも割安な値段で派遣していただけるといいのですが。」(60代/女性/聴覚障害)

「現在補聴器一個が支給されていますが、故障した場合、修理に出す間、替えの補聴器がありませんので会話ができません。本来補聴器を両耳にすべきと言われていますが、2個有れば故障した時も何とか会話が出来ると思います。」(70代/男性/聴覚障害)

「文京区福祉タクシー券が少ないので、もう少し多くしてほしいです。」(40代/男性/片麻痺)

「小日向に施設が出来ると聞きましたが、医療ケアの障害児はショートステイでも入れないのですか？ もし入れないのであれば、茗荷谷駅近くに更地のような場所があり、もしかしたら施設かというような話をききました。入れるところがなく困っています。医療的ケアの障害児も平等にしてほしいです。」(10歳未満/男性/体幹機能障害)

#### ②障害・疾患

「人工内耳のため、広い場所では雑音をひろってしまい聞きとりづらくて、コミュニケーションがとりづらいです」(80代/女性/聴覚障害)

「母は老齢で、アルツハイマー型の認知症なので、耳がよく聴こえないだけでなく、認知症による、困った行動もあるので、私にとっては、どちらか一つではなく合併した困難さがあり、分けて考えられるものではありません。」(80代/女性/聴覚障害)

「現在は心肺機能の劣化で普通の動きは支障ないのですが、呼吸が弱い、体力、筋力が弱いなど健常者の70%の動きしかできない状況です。」(80代/男性/心臓機能障害、呼吸器機能障害)

### ③生活環境

「区内すべての公共施設に点字ブロックと音声標識ガイドシステムをつけて下さい。」(40代/男性/視覚障害)

「最近、自転車、又は若い方すべての方が携帯電話に夢中で、周りを気にしない。外出が恐いのでつい外出出来ない事が多く人と接する事が無いので、自宅に籠ってしまう事が可哀想に思う。その為にも、歩行者が安心して歩ける様にしてほしい。」(80代/女性/聴覚障害)

「歩道上に出ている、看板、商店の品物、放置自転車が、歩行時に危険を感じる。歩道を走行する自転車のマナー向上と、とりしまりの強化が必要。」(50代/男性/視覚障害)

「地下鉄は便利でいいのですが、エスカレーター・エレベーターが少なく、あるとしても遠くまで、歩いてと云う事で、足の悪い私にとっては少々きついです。」(60代/女性/下肢障害)

### ④行政

「私は、文京区の障害福祉サービスに大変満足しております。より、生活に大変な思いをされている方や、高齢者、妊産婦、シングルマザー・ファザー等に優しい福祉を望みます。」(20代/女性/上肢障害)

「私は聴覚障害がある為電話等の使用が無理です。電話をかける事は出来ても回線を伝わってくる相手の声は一切きこえませんので人に何度か頼んだことはありますが、全て自身で行ってと云われました。区の職員さん方も、障害者等と接する場合は音感困難者の相談にももう少し理解を示してほしい。」(70代/女性/聴覚障害、その他)

「障害福祉課と介護保険課と国保・年金の方々が、それぞれのサービスを把握して欲しいと思います。」(70代/女性/視覚障害、音声・言語障害、上肢障害、下肢障害、片麻痺、心臓機能障害)

### ⑤情報・相談

「『福祉のてびき』はテープでなくCDか音声データにして欲しい。郵便物もCDか音声データにして欲しい。パソコン所有者を前提に行政サービスを行わないで欲しい。」(30代/男性/視覚障害)

「福祉サービスの内容が十分理解出来ないので残念です。もっと簡単でわかり易くご説明

願いたい。」(80代/女性/体幹機能障害)

「私はお婆の介助をしています。本当につらくて大変です。どこに何を聞いて対応、相談していいか本当にわかりません。問い合わせないと教えてくれない。平日仕事をしているので9～5時の問い合わせなどはむり、もっとわかりやすくして。」(80代/女性/聴覚障害)

## ⑥保健・医療

「リハビリや回復への通院先の病院等に『外来リハビリ科』を充実してほしい。」(70代/女性/その他)

「愛知県では医療費が無料だったのですが、東京では医療費がかかるので将来不安です。」(20代/男性/心臓機能障害)

## ⑦障害理解

「障害者に対して、世の中の理解がぜんぜん生かされていない。平等と言っているが全然だめです。弱い者は、今も昔も変わらない。」(50代/男性/腎臓機能障害、精神疾患)

「外出の折、いつも、自転車利用していますが、つえがないと、障害者用トイレを利用すると周りからあから様に、いやみを云われたことがあった。都バス利用の時も、乗客の中年の男性から『この席はどんな人が利用するのか、わかっているのか?』といわれた。いちいち、『私は障害者です』なんていえないし。」(70代/女性/下肢障害)

「この頃、電車内の優先席で平気にスマホを使う人が増えた様な気がします。中には、ペースメーカーを埋め込んでいるので、電磁波は良くないです。なのに、ゲームをしたり、音楽を聴いているのか、目の前に高齢者や肢体不自由者が立っていても知らんぷりです。」(50代/女性/下肢障害)

「高次脳機能障害は、周囲に誤解されるため、大変苦勞しています。近所の人に、差別的な言葉を言われました。理解していただこうとは思いませんが残念です。自分は福祉に詳しいと思う人ほど、勘違いをされているような偏見はかなりあります。」(60代/男性/音声・言語障害、心臓機能障害)

## ⑧将来

「妻に依存する部分が大ですので、妻が入院等で不在になった時、自力で生活できるか不安があります。そういう時のサービスの充実を切に期待します。」(70代/男性/視覚障害)

「現在は家族も元気であり、私自身も自分の行動は自分で出来ます。しかし、今後10年以上たった時の事を考えると不安になります。私だけでなく区民だれでもが助け合える、そして区の窓口や施設がより一層ていねいに対応出来る場所であって欲しいと思います。」(60代/女性/下肢障害)

「老人になると誰でも自分の先行(老先)の事を考えるなど云っても考えてしまうのが世の常だが、それをポジティブにどうしたら生きて行けるかを想い、小生などは1日、1日



を気軽にやりたい事は何でもやって見る。」(80代/男性/下肢障害、心臓機能障害、その他)

### ⑨雇用・就労

「私は近くのコンビニで2時間ほど働いています。オーナーの理解もあり、その間15分ほどの休憩をもらい、楽しく働かせてもらっています。しかしながら今の状態(身体)が維持できれば良いのですが。」(60代/女性/上肢障害、下肢障害)

「障害者雇用率が2.0%に上がったことで、雇用しようと企業が動きだしたことは、障害者にとって良いことだと思いますが、人数を確保することだけに集中してしまうのではないかと疑問に思うことがあります。社内の受け入れる気持ちが育っていなければ、障害者が長く勤務できないのではと考えます。」(30代/女性/下肢障害、直腸・膀胱機能障害)

「私は左足が不自由なため、装具をしております。そのために靴を履き替えたり、動き回る仕事は難しいかと思えます。かといって、パソコンも基礎程度しか出来ません。今後、遅ればせながら、何らかの資格でも取れば、就職にも有利になるので、取りたいと思っています。」(50代/男性/平衡機能障害、下肢障害)

「私は視覚障害者ですが、大学に進学して弁護士を目指しました。そちらは実現しませんでした。理学療法士になって、比較的安定した人生を送れました。人生は何とかなるもんだと思っています。」(50代/男性/視覚障害)

### ⑩教育・療育

「通学の移動支援の拡大など、実態にあった支援をお願いしたい。」(10歳未満/女性/音声・言語障害、上肢障害、下肢障害、体幹機能障害)

「文京区の公立保育園の入園審査基準において、障害についてのポイントは、『申込児が障害者手帳3級以上を持っている』時、追加点が2点となっている。申込児の障害は3級以下でも、保育者の特別な配慮を必要とする場合が多い。手帳をもっている場合、すべて加点をすべきである。」(10歳未満/男性/聴覚障害)

「障害者への理解を求めるばかりではなく、障害者自身が社会に通用する存在となれるように、特別支援学校での教育を強化すべきである。」(20代/男性/視覚障害)

### ⑪その他

「音楽会・演劇など文化行事やシビックホールで行う催しに招いて欲しい。」(70代/女性/下肢障害)

「大きく心配しているのは、就寝時、入浴時など、補聴器を外している際の火災等です。緊急時に本人が気付けないこと、どうやって知らせることが可能かということです。」(10代/男性/聴覚障害)